

令和2年度 Sport in Life 推進プロジェクト
(スポーツ実施を阻害する課題解決のための実証実験)
「笑って！ワクワク！スポーツ体験プロジェクト！」

事業報告書

令和3年2月

吉本興業株式会社

令和2年度 Sport in Life 推進プロジェクト
(スポーツ実施を阻害する課題解決のための実証実験)
「笑って！ワクワク！スポーツ体験プロジェクト！」
事業報告書

目次

本事業の目的	1
1. 本事業の実施概要	2
(1) 本事業のターゲット	2
(2) ターゲットのスポーツ実施の阻害要因、促進要因（事業実施前の仮説）	2
(3) 本事業で期待される効果	7
2. 本事業の実施内容	10
(1) 事業の実施概要	10
(2) 事業の実施結果	13
3. 本事業の実施体制	34
(1) 本事業の実施体制	34
(2) 本事業の実施スキーム	34
4. 事業の実施効果（スポーツ実施頻度、実施意欲の改善効果）	36
(1) 効果検証方法	36
(2) 効果検証の結果	38
5. スポーツ実施改善の要因の分析（阻害要因や促進要因の仮説検証）	44
6. 本事業から得られた波及効果	48
7. 今後の事業展開予定	51
(1) 事業継続や横展開に向けたポイント、課題	51
(2) 次年度以降の事業継続、横展開の計画	51
(3) 今後の事業展開に向けて期待される sport in Life プロジェクトにおける取組	52
8. 終わりに	52
参考資料 アンケート調査票・分析結果詳細	53

本事業の目的

本事業は、スポーツ参画人口の拡大に向けて、**Sport in Life** コンソーシアム加盟団体が連携・協働して実施する取組を後押しするとともに、先進事例を形成することにより、全国各地にスポーツ参画人口の拡大に向けた取組を展開するためのモデルを創出することを目的に実施したものである。

現在、スポーツをしたくとも出来ない方が多くおられ、それは年代や性別などによっても理由は大きく異なる。スポーツという言葉を聞くと、厳しい、しんどい、時間を取られる等、ネガティブに捉える方も多くおられる。特にスポーツ未経験者やスポーツに対して苦手意識を持っている方は、このイメージを払拭することが出来ず、スポーツをしようもしないというのが現状である。

私たちは、“笑いの力”でスポーツの裾野を広げる活動を日々行っており、スポーツに苦手意識を持っていることで、普段行われているスポーツイベントに足が遠のいている方に対し、参加し易い環境を作ることで、スポーツに対する意識変容を促す実証実験の場を作りたく考えている。

スポーツは楽しいし夢がある。子ども達にそう思ってもらえるよう意識変容を促す場としつつ、更には日々の家事や仕事などで忙しい環境に身を置いている親御様に向けた、生活の中でも取り入れられる運動方法を紹介する映像コンテンツの制作を行う。料理を作る際や、通勤途中においても、心の持ちようで出来る運動もあり、身体の動かし方を知っていると、知らないでは大きな違いとなる。

スポーツと聞くと、どうしても壁を感じてしまい、なかなか行動に繋がらない方が多くおられる。そういった方々に参加頂き、楽しく身体を動かす方法を伝えることで、継続的に身体を動かし続けられる事業フローを構築する。

1. 本事業の実施概要

(1) 本事業のターゲット

【ターゲット① 子ども（未就学児～小学校低学年）】

[年齢／性別]

未就学児～小学校低学年／男女共に

（それ以外の未就学児、中学生も対象範囲とする）

[居住エリア]

大阪市内を中心とした居住者（大阪府下の居住者も対象範囲とする）

【ターゲット② 女性（特に上記の子どもの保護者である母親世代）】

[年齢／性別]

20 歳～49 歳まで／女性

[職業]

会社員、自営業、主婦など「子育て世代」

[居住エリア]

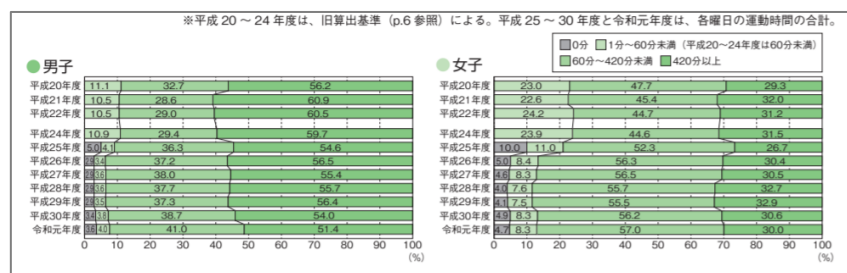
大阪市内を中心とした居住者（大阪府下の居住者も対象範囲とする）

(2) ターゲットのスポーツ実施の阻害要因、促進要因（事業実施前の仮説）

【子ども達のスポーツ実施を妨げている要因】

本事業で主なターゲットとしている、未就学児～小学校低学年の子ども達の 1 週間の総運動時間は、下図表 1 の通り、女子は平成 20 年から横ばい傾向が続いているが、男子に関しては年々右肩下がり減少傾向となっている。また、平成 25 年以降、男女共に総運動時間が「週 0 分」の子ども達が出てきており、運動を“する子ども”と“しない子ども”の「二極化」が進んでいると考えられる。スポーツと距離を置いている子ども達に対し、如何にしてスポーツに興味を持ってもらい、継続的な実施に繋げて行くのが課題として考えられる。

図表 1 1 週間の総運動時間の経年変化



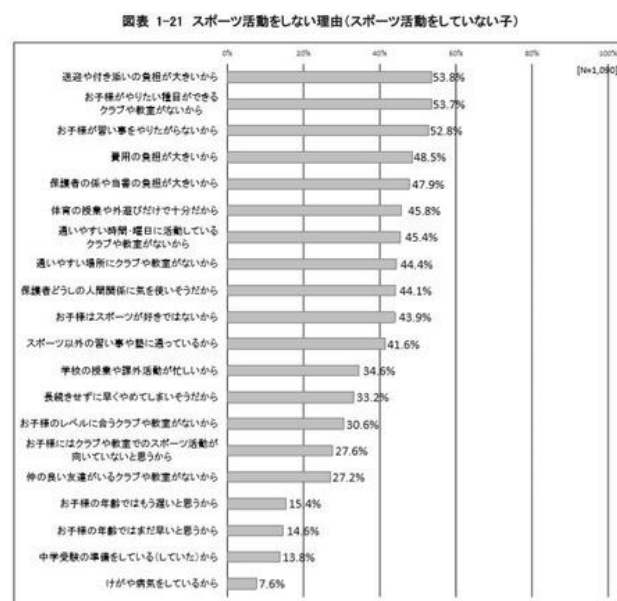
（出所）スポーツ庁「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」

スポーツと距離を置いてしまう原因として、図表 2 より検討すると、「子どもがスポーツ好きでないから」という回答が 43.9%を占め、親の目線で可能性を遮ってしまっている印象がある。子ども達は多くの才能を秘めており、可能性を探ることで、親や本人が気づいていないだけで、実は向いているスポーツもがあるのではと考えられる。

スポーツを継続的に実施するうえで、親の協力は必要であり、子ども達の向いているスポーツを示すことで、親も協力したくなるのではと考えられる。

他では、「クラブや教室がないから」という回答も 53.7%を占めており、近場でスポーツを実施出来る場所を知らないで過ごしている方が多くおられる。地域ごとに自治体主導の無料で参加できるイベントも多数あり、そういった場を紹介することで、スポーツ実施率の向上に繋がると考えられる。

図表 2 スポーツ活動をしらない理由



注)「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。

(出所) 笹川スポーツ財団「小学生のスポーツ活動における保護者の関与・負担感に関する調査研究」

更には、将来の夢に「スポーツ選手」と掲げる人が減っているということも原因の一つとして考えられる。下図 3 の通り、小学生の将来の夢として、2010 年には 30.1%を占めていた「スポーツ選手」が、2020 年には 18.8%と大幅に数字を落としている。テレビでプロスポーツ(野球、サッカーなど)を見られる回数が一時期に比べ減っており、見る機会が減ることで、スポーツに対する熱量が軽減しているのではと考えられる。

図表 3 男の子が「将来就きたい職業」トップ 20

【男の子が「将来就きたい職業」トップ 20】 (n=2,000)

※同一%で順位が異なる場合がありますが、これは集計を元に順位付けしたためです。(次頁以降の表も同じ)

位	2020 年(今年)	%	位	2019 年(昨年)	%	位	2010 年(10 年前)	%	位	2000 年(20 年前)	%
1	スポーツ選手	18.8	1	スポーツ選手	20.1	1	スポーツ選手	30.1	1	スポーツ選手	20.5
2	警察官	15.1	2	警察官	14.2	2	消防・レスキュー隊	6.5	2	警察官	8.0
3	運転士・運転手	9.5	3	運転士・運転手	8.8	3	警察官	6.0	3	大工・職人	7.5
4	消防・レスキュー隊	7.8	4	消防・レスキュー隊	8.3	4	運転士・運転手	5.6	4	消防・レスキュー隊	6.8
5	TV・アニメキャラクター	5.5	5	研究者	5.7	5	大工・職人	4.8	5	運転士・運転手	6.7
6	研究者	4.7	6	TV・アニメキャラクター	5.5	6	ケーキ屋・パン屋	3.9	6	自営業	6.3
7	ケーキ屋・パン屋	3.9	7	ケーキ屋・パン屋	3.8	7	研究者	3.6	7	おもちゃ屋	6.2
8	医師	3.4	8	医師	3.5	8	TV・アニメキャラクター	3.2	8	ケーキ屋・パン屋	4.4
9	大工・職人	2.6	9	大工・職人	2.3	9	パイロット	3.1	9	パイロット	3.9
10	ユーチューバー	2.4	10	芸能人・歌手・モデル	2.0	10	医師	3.0	10	会社員	2.8
11	宇宙関係	2.2	11	パイロット	1.8	11	料理人	2.7	11	TV・アニメキャラクター	2.7
12	パイロット	2.1	12	料理人	1.8	12	鉄道・運輸関係	2.7	12	医師	2.7
13	料理人	2.0	12	ユーチューバー	1.8	13	芸能人・歌手・モデル	2.5	13	研究者	1.9
14	自営業	1.9	14	自営業	1.5	14	車整備・販売	2.1	14	車整備・販売	1.4
15	車整備・販売	1.7	15	会社員	1.5	15	会社員	2.0	15	教員	1.3
16	芸能人・歌手・モデル	1.2	16	車整備・販売	1.4	16	宇宙関係	1.5	16	宇宙関係	1.3
17	鉄道・運輸関係	1.2	16	鉄道・運輸関係	1.4	17	教員	1.3	17	建築家	1.2
18	自衛官	1.1	16	エンジニア	1.4	18	おもちゃ屋	1.2	18	芸能人・歌手・モデル	0.9
19	教員	1.0	19	ゲームクリエイター	1.3	19	自営業	1.1	19	ゲームクリエイター	0.7
20	エンジニア	0.9	20	教員	1.0	20	販売・接客業	0.9	19	エンジニア	0.7
			20	動物園・遊園地	1.0						

(出所) 株式会社クラレ「この春に小学校に入学する子どもとその親を対象にアンケートを実施し、「将来就きたい職業」「就かせたい職業」を調査」

上記理由より、本事業のターゲットとしている未就学児～小学校低学年のスポーツ実施の阻害要因（仮説）は下記の通り。

- ✓ スポーツのできる場所が保育園・学校以外に少ない（コロナ事情による、外遊びの減少）
- ✓ 「スポーツ」に対して、得意分野が見つけられていない。
- ✓ 「スポーツする」ことが、将来の夢に繋がりにくくなっている。（スポーツ選手が将来の夢という感覚が低くなっている）
- ✓ コロナウィルス感染症の拡大により、子供がスポーツを実施する場が限定的。

【子育て中の 20 代～40 代迄の女性のスポーツ実施を妨げている要因】

同時にターゲットとしている、子育て中の女性がスポーツを遠ざけている要因として、下図 4 の通り「仕事や家事が忙しいから」という理由が全体の 27.9%を占めており、次いで「面倒くさいから」という回答が 12.9%を占めている。

時間が無い中でも出来る運動を紹介することで、女性達の運動実施に繋がると考えられる。

図表 4 スポーツを実施する頻度が減ったまたはこれ以上増やせない（増やさない）理由
（現在の運動頻度に満足していない者に対して）

すべての理由を複数回答 (n=17,106)

	全体	男性	女性	(%)
仕事や家事が忙しいから	43.7	44.1	43.3	
面倒くさいから	27.5	24.7	30.3	
年をとったから	24.6	27.5	21.8	
お金に余裕がないから	16.5	15.8	17.2	
特に理由はない	14.3	14.7	13.9	
子どもに手がかるから	10.9	8.6	13.2	
運動・スポーツが嫌いだから	10.1	6.0	14.2	
場所や施設がないから	9.5	9.4	9.6	
仲間がいらないから	9.3	10.2	8.5	
病気やけがをしているから	8.9	8.6	9.3	
生活や仕事で体を動かしているから	8.7	7.5	9.8	
運動・スポーツ以上に大切なことがあるから	7.3	7.5	7.1	
指導者がいないから	2.3	2.2	2.3	

もっとも大きい理由 (n=17,106)

	全体	男性	女性	(%)
仕事や家事が忙しいから	27.9	31.0	24.9	
特に理由はない	14.3	14.7	13.9	
面倒くさいから	12.9	11.8	13.9	
年をとったから	11.0	13.1	9.1	
病気やけがをしているから	5.6	5.1	6.1	
子どもに手がかるから	5.0	3.2	6.8	
お金に余裕がないから	4.6	4.8	4.4	
運動・スポーツが嫌いだから	4.0	2.1	5.9	
生活や仕事で体を動かしているから	3.4	2.9	3.8	
運動・スポーツ以上に大切なことがあるから	2.2	2.4	2.0	
場所や施設がないから	2.0	2.0	2.0	
仲間がいらないから	1.8	2.1	1.5	
指導者がいないから	0.2	0.2	0.3	

（出所）スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

下図 5 の通り、スポーツを取り組めていない方も、機会さえあれば取り組みたいと思われており、特に健康面に意識を持たれている方が多く見受けられる。

健康増進や体力向上に繋がる、スポーツプログラムを受講したいと思われている方も多くおられ、普段の生活内でも実施できる運動方法を紹介することで、運動実施の向上に繋がると考えられる。

図表 5 この 1 年間にスポーツを実施した理由

すべての理由を複数回答（n=15,912）				もっとも大きい理由（n=15,912）					
	全体	男性	女性	(%)		全体	男性	女性	(%)
健康のため	73.9	74.1	73.7		健康のため	33.3	34.7	31.8	
体力増進・維持のため	53.9	54.9	52.8		体力増進・維持のため	10.1	10.7	9.4	
運動不足を感じるから	51.5	48.7	54.4		筋力増進・維持のため	5.5	5.6	5.5	
楽しみ、気晴らしとして	43.8	45.1	42.4		楽しみ、気晴らしとして	14.1	15.8	12.3	
筋力増進・維持のため	37.7	37.3	38.1		運動不足を感じるから	10.1	8.9	11.4	
肥満解消、ダイエットのため	30.4	26.5	34.6		精神の修養や訓練のため	0.4	0.5	0.3	
友人・仲間との交流として	20.0	22.0	18.0		自己の記録や能力を向上させるため	1.2	1.6	0.7	
美容のため	9.0	3.0	15.3		家族のふれあいとして	2.5	2.0	3.0	
家族のふれあいとして	8.8	7.6	10.2		友人・仲間との交流として	4.3	5.2	3.4	
自己の記録や能力を向上させるため	7.4	9.5	5.3		美容のため	1.0	0.3	1.7	
精神の修養や訓練のため	7.1	8.2	5.9		肥満解消、ダイエットのため	11.0	8.6	13.5	

（出所）スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

また、女性にとって大切な要素である「美」とスポーツを結びつけることで、スポーツに対し、継続的に取り組めるのではと考えられる。普段の歩き方や姿勢を意識し、少しでも変化を加えることで、実年齢よりも 5～10 歳若く見え、周囲からの見え方も変わっていく。本プログラムを通して、歩くことが「美しさ」に繋がると感じて頂く。講師を招き、注意すべきポイントを伝え、実地体験を重ねる。歩くことが「美」に繋がるという意識を植え付け、スポーツ実施率の向上に繋げていく。

本事業のターゲットとしている子育て中の 20 代～40 代の女性のスポーツ実施の阻害要因（仮説）は下記の通り。

- ✓ 「スポーツ」を取り組みことに対してハードルを感じている。
- ✓ 仕事や育児に追われて、スポーツに費やす時間を取りにくいと感じている。
- ✓ スポーツが美に繋がるという意識が低い。
- ✓ 外でスポーツをすることに対して、周りの目が気になってしまう。

(3) 本事業で期待される効果

【未就学児～小学校低学年への期待される効果】

1. 子どもを対象に、スポーツ実施率に繋がることを目的とし、下記を実施。

①最新の測定機器による「スポーツ能力測定会」を実施

- ・子どもの運動能力を測定し、データ分析することで「得意なスポーツ」を発見、能力を伸ばす。
- ・子ども達は「自分にあったスポーツ」を知ることができる。

②イベント「よしもとキッズプロジェクト」を開催

- ・一流アスリートをゲストに呼び、スポーツの指導を受ける。お笑い芸人も一緒に参加し、楽しい環境にてスポーツを体験する。
- ・トップアスリートの指導の元、スポーツを体験することで、身体を動かすことの楽しさや、アスリートへの憧れを体感できる。

③プロスポーツクラブの試合観戦イベントを実施

- ・プロスポーツを生で観戦することで、スポーツへの興味関心を今まで以上に抱き、将来の夢に「スポーツ選手」と回答する子どもを増やす。

2. 未就学児～小学校低学年を対象に、スポーツを行う環境を作ることで、スポーツ実施率の向上に繋げる。

①「大阪市スポーツ推進委員協議会」と、地域（大阪市各 24 行政区内）でのスポーツイベント等を実施

- ・2017 年から大阪市と包括連携協定を結んでおり、大阪市協力の下、展開。
- ・吉本興業所属の「大阪市 24 区住みます芸人（地域協議会と連携した活動を展開）」が参加し、子ども達・保護者達と一緒にスポーツを体験できる場を企画～実施。

本事業を通して、未就学児～小学校低学年のスポーツ実施意欲の向上を図るとともに、プログラム終了から 1 か月経過した後のスポーツの実施状況を調査し、習慣化に向けた検証を行う。

期待される効果は下記の通り。

① 検証方法

イベント実施後のアンケート及び、イベント 1 ヶ月後に WEB アンケート

② 具体的な目標

大阪市の「約 38%が 1 日に 1 時間以上の運動時間」という割合を、今事業の参加者においては「約 50%が 1 日に 1 時間以上の運動時間」という割合になるよう目指す。

【子育て中の 20 代～40 代迄の女性への期待される効果】

1. 女性を対象に、スポーツ実施率の向上に繋がることを目的とし、下記を実施。

① 歩き方のワークショップを実施

- ・女性向け「歩き方のワークショップ」を実施、プロのインストラクターから知識を得る。
- ・ウォーキングの総合力に目を向け、「家事や育児、仕事で忙しく、自身の健康や美しさに対して、あまり意識できていない」女性が日常の中で「スポーツ・運動＝歩くこと」を意識づけ、現状の歩き方や姿勢を認識・改善することを目的とする。

② 女性向けの「自宅でできるスポーツ」動画を配信

- ・本企画に興味を持たれている女性、また人に身体を見せることに対して消極的な方に対し、イベント時のセミナーの模様を「自宅でできるスポーツプログラム」として撮影へ編集。「動画を見る」ことで生活の中でのスポーツ実施に繋げて行く。

本事業を通して、子育て中の歳の 20～40 代迄の女性のスポーツ実施意欲の向上を図るとともに、プログラム終了から 1 か月経過した後のスポーツの実施状況を調査し、習慣化に向けた検証を行う。

期待される効果は下記の通り。

① 検証方法

イベント実施後のアンケート及び、イベント 1 ヶ月後に WEB アンケート

② 具体的な目標

大阪市の「週に 1 日以上、運動をしている女性は 30%」という割合を、スポーツが美や健康へ関連しているという意識を持つことで「40%台」になることを目指す。

	スポーツ実施の 阻害要因/促進要因	実施内容	期待される効果
子ども	スマホの発達により、ゲームやSNSに没頭する子どもが増えている	①スポーツを楽しみ感じてもらう ・イオンモールを活用したスポーツ体験イベント ・大阪市内でのスポーツイベント	○スポーツを好きになる... 身体を動かすことは楽しい！普段はスポーツを苦手と感じる子ども達も、お笑い芸人と一緒に身体を動かすことで、苦手意識の克服に繋がると思われます。かけっこなどのスポーツを行ううえでも基本となる動作です。まず基本を身につけることで、色んなスポーツを行い続ける基礎を構築します。 ○自分の才能を知ることができる... 自分自身の才能に気づき、向いているスポーツを知ること、そのスポーツ競技に興味を持ち、実際にやってみようと思うきっかけとなります。 ○夢を持つ... 将来の夢にプロスポーツ選手と答える子どもは年々減っております。そういった中でトップアスリートのプレイを生で見ることで、気持ちの変化を促します。
	スポーツの得意分野を見つけれられていない	②スポーツ能力発見協会が行う測定プログラムを通して、得意種目を導き出す	
	スポーツ選手が将来の夢に繋がりにくい	③プロスポーツを観戦企画 ・オリックス・バファローズ戦を観戦 ・セレッソ大阪戦の観戦	
女性	時間がなく、忙しい	④動画コンテンツ 普段運動する機会の少ない女性に向けた動画プログラムの作成。	○普段の生活にスポーツを取り入れる... 普段何気なく生活している中でも実はスポーツを取り入れられる要素はたくさんあります。コロナの影響もあり在宅が増えており、在宅での身体の動かし方を知ること、テレビを見ている際や科中などでも身体を動かすことができます。 ○意識の変化... 動画内では歩く際に気にするポイントも指導しています。ただ何も気にせず歩くのではなく、目線や歩幅などに気をつけることで、見た目の美しさにも繋がります。美に繋がることで、自身の継続性にも繋がると思われます。
	面倒だと感じる		

2. 本事業の実施内容

(1) 事業の実施概要

【未就学児～小学校低学年を対象とした事業】

スポーツを“する子ども”と“しない子ども”、スポーツにおける「二極化」を解消すべく、子ども達がスポーツに対し興味を持つことが大切である。現在、コロナ禍ということもあり、在宅時間が増え、子ども達の興味はゲームや SNS など、スポーツ以外のモノに興味を示す傾向があり、そういった中でも、スポーツに興味を抱かせることが大切だと考えられる。スポーツは楽しいし、夢がある。

私どもが行う「知る」→「する」→「見る」の一連のフローを通して、スポーツに対する意識変容及び、行動変容を促す。

具体的な実施内容は下記の通り。

事業① スポーツを楽しみと感じてもらおう！

スポーツはしんどいし、辛い、指導者から厳しく怒られるのでは無いか…

そのように感じる子どもも多くいる。そういったネガティブな要素を取り払い、スポーツの楽しさを感じてもらうことで、明日以降の実施継続に繋がっていくと考えられる。イオンモールりんくう泉南、イオンモール鶴見緑地において、計 2 回のスポーツ体験イベントを実施。その日限りのスポーツ実施にならないよう、大阪市内で継続的に行われている、スポーツ体験型イベントに弊社も参画し、継続的なスポーツ実施の場を作り、場の紹介も併せて行っていく。全てのプログラムには、吉本興業のお笑い芸人も加わり、お笑い芸人と一緒に、楽しみながら参加する事で、スポーツに対して良い印象を与え、スポーツ好きを増やしていけると考えられる。

事業② 自身の才能に気づける場を提供

「DOSA スポーツ能力測定会」を運営する、スポーツ能力発見協会に協力頂き、子ども達の向いているスポーツ競技を導き出す取組みを、イオンモールりんくう泉南、イオンモール鶴見緑地の計 2 会場にて実施。DOSA スポーツ能力測定会では、世界最新の測定機器を用い、子どもたちの運動能力を測定、データ分析の結果から発見される、最も適したスポーツ種目との紐づけを行い、個々にフィードバックしながら、能力がステップアップする方法のアドバイスを行う。運動に苦手意識を持っている子ども達にも実は向いているスポーツ競技はあり、筋力の強さ、跳躍力、柔軟性等を数値で見ること、子ども達の可能性が広がる場となる。スポーツに苦手意識を持ち、日常的に身体を動かさそうと思わない子どもも多くいる中、自身の才能を知ること、スポーツとの向き合い方に変化が生まれるのではと考えられる。

事業③ 将来の自分を思い描ける場を提供

今もスポーツ選手になりたいと回答する子どもは多くいるが、ここ数年でその割合は大きく減少している。最近では、「ゲームクリエイター」や「ユーチューバー」が上位にランクインしており、子ども達は自宅でゲームをし、YouTube 等の動画コンテンツを見ることで、憧れの対象が数年前と比べ、変化が生じている印象。

テレビ放送で、プロ野球や J リーグを見られる中継の回数も減少しており、子ども達のスポーツ離れを引き起こす要因に繋がっているのではとも考えられる。スポーツ離れしている子ども達に対し、プロスポーツを生で見せることで、会場の盛り上がりや選手達のパフォーマンスの高さを肌で感じ、自身が持つ将来像にも変化を及ぼすのではないかと考えられる。

【子育て中の 20 代～40 代迄の女性を対象とした事業】

健康に対する意識を持たれている方が多く、健康維持の為に身体を動かしたいと考えている方がいる。運動することに対し、疎遠にはなっているが、機会があれば身体を動かしたいと思われている方々を対象に、生活の中でも取り入れられる身体の動かし方を紹介する。

スポーツをしない方の理由として、「時間が無い」という答えが多数を占めている。普段の生活に取り入れられる内容とすることで、時間を無理に作らずとも実施が可能。オンラインでの在宅トレーニングを紹介することで、他人の視線を気にせず、自身の生活リズムの中でスポーツを取り入れられる。

運動法を紹介することで、女性達のスポーツに対する気づきに繋げることが、今後の継続性を育んで行くと考えられる。

事業① カラダの使い方を知れる場

アメリカ NATA 公認アスレティックトレーナー山本邦子さんを講師として招き、生活の中で取り入れられる「呼吸法」や「歩き方」のワークショップを実施。普段何気なく呼吸をしているが、意識を変えるだけで、疲れの溜まり方や、身体の肉付きの変化、更にはストレスの軽減に繋がっていく。

また、歩き方を意識することで、姿勢の改善にも繋がり、見た目の「美しさ」が向上される。普段の生活でやっていることに、+αを加えることで、少しの負担で運動効果を向上させることが可能に。負担が大きくないからこそ、その日限りにならず、継続性を持った取組みになると考えられる。

事業②自宅で気軽にできるカラダの動かし方を紹介

忙しくなかなかスポーツが出来ない…

そういった方が多くおられる中で、生活の中で取り入れられる身体の動かし方を紹介する動画コンテンツを制作。料理シーン、出勤シーンなど、女性の生活に落としこんだ映像コンテンツとする。

コロナウィルス感染症の拡大に伴い、自宅で過ごす方も増えている。そういったコロナ禍でも実施可能な、自宅で出来る運動も紹介することで、運動不足解消にも役立つと考えられる。身体の動かし方を“知らない”と“知っている”では大きな違いがある。映像を通して、運動方法を知ること、今後の運動実施に繋がると考えられる。

(2) 事業の実施結果

【未就学児～小学校低学年を対象とした事業】

事業①スポーツを楽しいと感じてもらおう！

事業②自身の才能に気づける場を提供

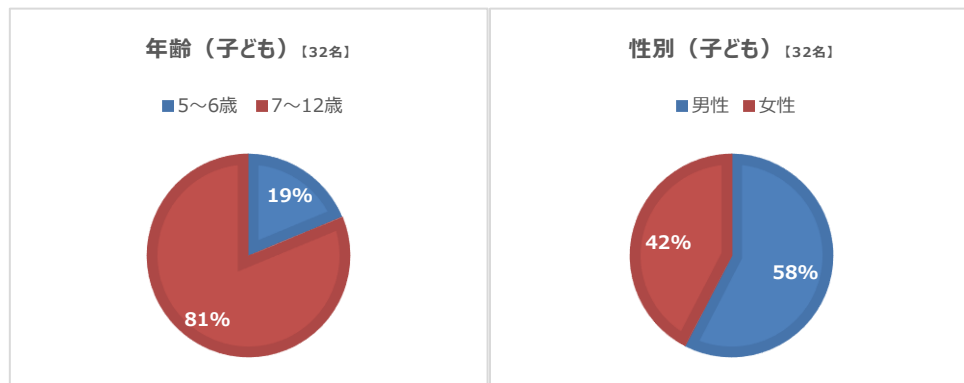
イオンモールりんくう泉南、イオンモール鶴見緑地を会場として活用し、スポーツを体験できる場を提供。未就学児～小学校低学年を対象としたイベントとしており、自身の秘められた才能を「知る」、スポーツを体験「する」という、2つの要素を取り入れたプログラムを実施。

名称	笑って！ワクワク！スポーツ体験会！
開催日時	令和2年10月24日（土）
開催場所	イオンモールりんくう泉南
アジェンダ	<午前の部> 11:15～12:15 かけっこ教室（講師：市川良子さん（アトランタ・シドニーオリンピック日本代表）、ミサイルマン・西代（お笑い芸人）） 12:30～13:30 スポーツ能力測定会（講師：DOSA スポーツ能力測定員、女と男（お笑い芸人）） <午後の部> 14:45～15:45 かけっこ教室（講師：市川良子さん（アトランタ・シドニーオリンピック日本代表）、女と男（お笑い芸人）） 16:00～17:00 スポーツ能力測定会（講師：DOSA スポーツ能力測定員、ミサイルマン・西代（お笑い芸人））
参加者概要	<午前の部> 小学1～6年生 16名参加 <午後の部> 小学1～6年生 19名参加

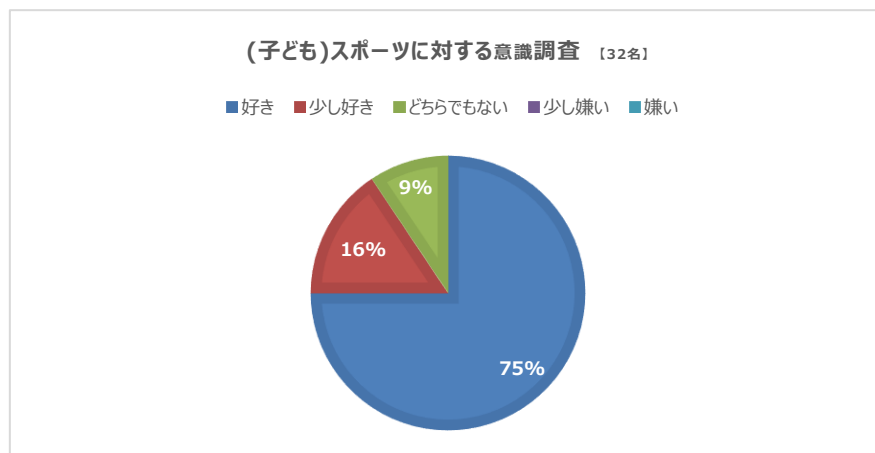
図表 7 当日の写真など



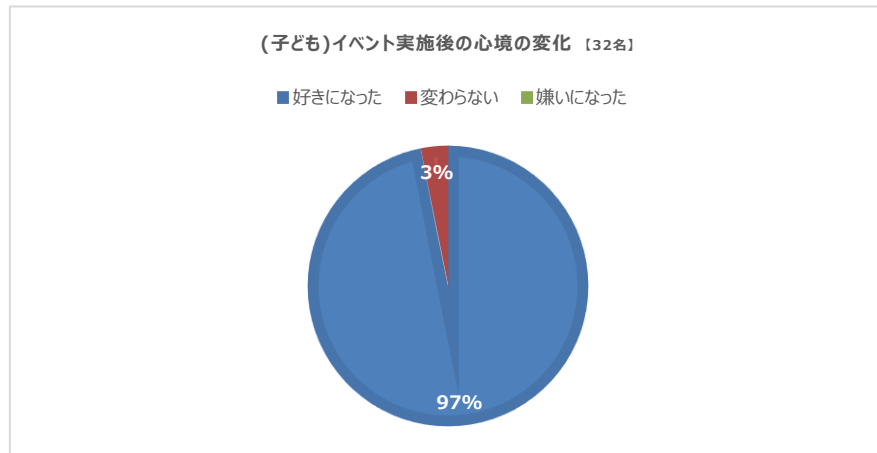
図表 8 年齢・性別



図表 9 スポーツに対する意識調査（イベント前）



図表 10 スポーツに対する意識調査（イベント後）

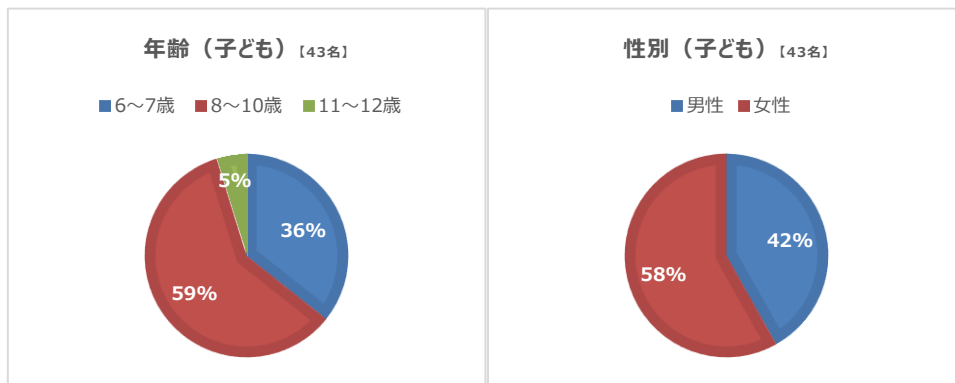


名称	笑って！ワクワク！スポーツ体験会！
開催日時	令和2年11月22日（日）
開催場所	イオンモール鶴見緑地
アジェンダ	<午前の部> 11:15～12:15 かけっこ教室（講師：市川良子さん（アトランタ・シドニーオリンピック日本代表）、ミサイルマン・西代（お笑いタレント）） 12:30～13:30 スポーツ能力測定会（講師：DOSA スポーツ能力測定員、女と男） <午後の部> 14:45～15:45 かけっこ教室（講師：市川良子さん（アトランタ・シドニーオリンピック日本代表）、女と男） 16:00～17:00 スポーツ能力測定会（講師：DOSA スポーツ能力測定員、ミサイルマン・西代（お笑いタレント））
参加者概要	<午前の部> 小学1～6年生 18名参加 <午後の部> 小学1～6年生 25名参加

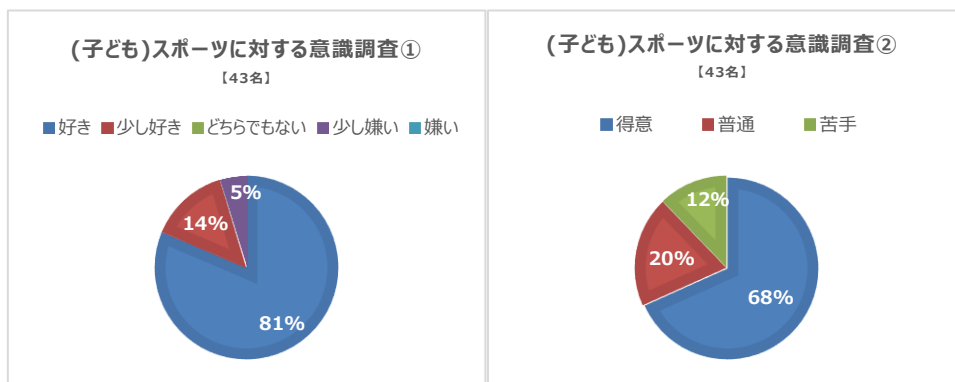
図表 11 当日の写真など



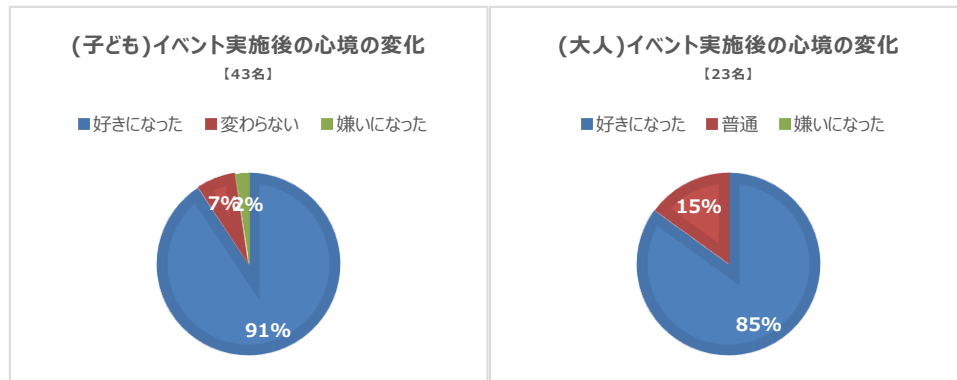
図表 12 年齢・性別



図表 13 スポーツに対する意識調査（イベント前）



図表 14 スポーツに対する意識調査（イベント後）



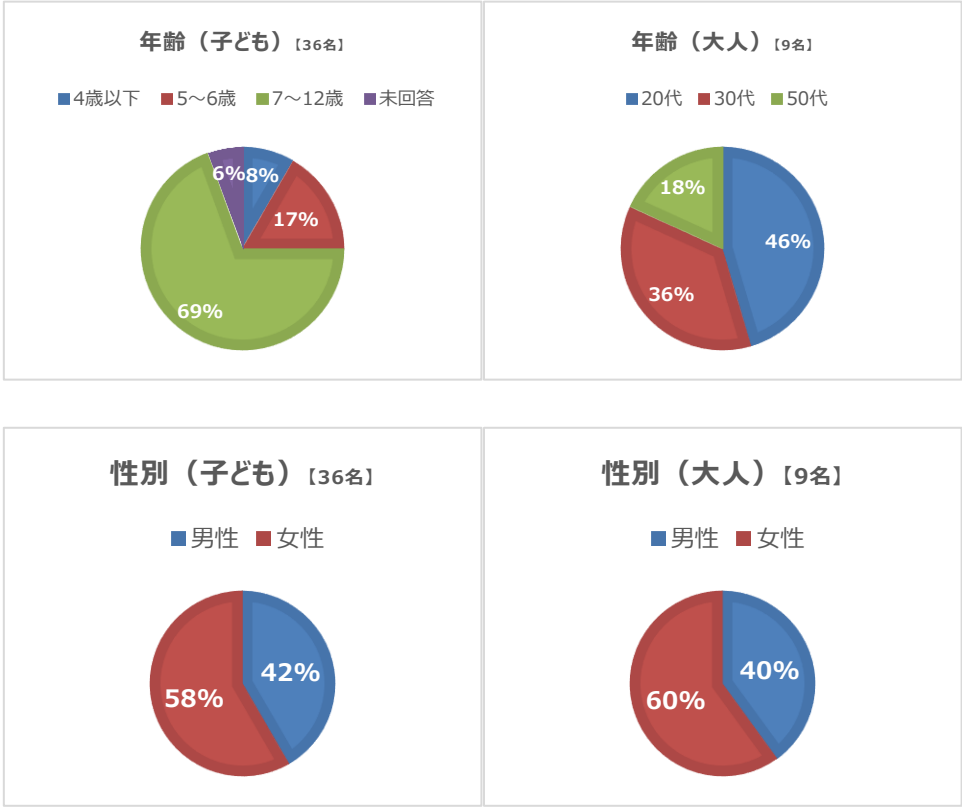
大阪市内全域で、スポーツ推進委員が中心となり日常的に行っているスポーツ体験型イベントとの連携事業を行う。身体を動かしたくとも、どこに行けばスポーツが出来るのか分からない… そういった方も多くおられる。計 2 回のイオンモールでのイベントに限らず、「継続性」を持たせることで、スポーツの日常化を狙う。今事業では、大阪市との連携により、地域で日常的に行っているスポーツイベントとの連携を図る。普段行っている地域単位でのスポーツイベントに、吉本興業のお笑い芸人が加入することで、より集客が見込め、参加者にとって満足度の高いコンテンツとなる。スポーツを楽しみながら実施できる場を広げることで、スポーツに対する意識変容に繋げていく。

名称	大阪城トライアスロン大会 2020
開催日時	令和 2 年 10 月 11 日（日）
開催場所	大阪城公園「太陽の広場」
アジェンダ	11:00～11:45 ダブルダッチ教室（講師：CL ユナイテッド、span！（芸人）） 13:00～13:45 ダブルダッチ教室（講師：CL ユナイテッド、span！（お笑い芸人））
参加者概要	11:00～11:45 未就学児～小学生&親御様 計 50 名 13:00～13:45 未就学児～小学生&親御様 計 50 名

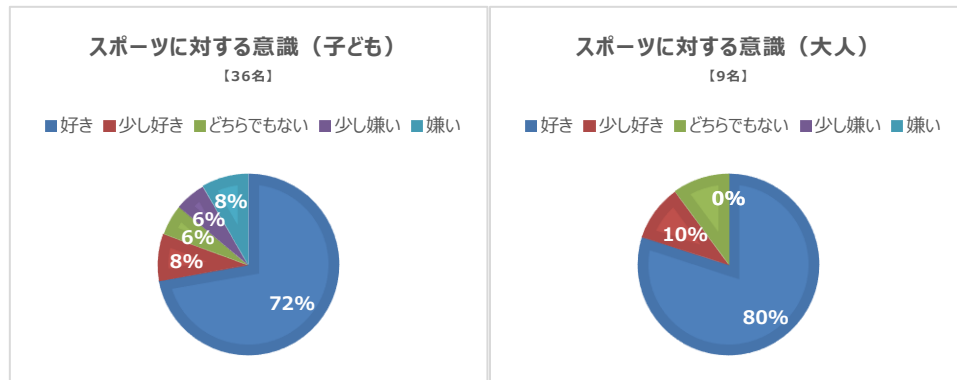
図表 15 当日の写真など



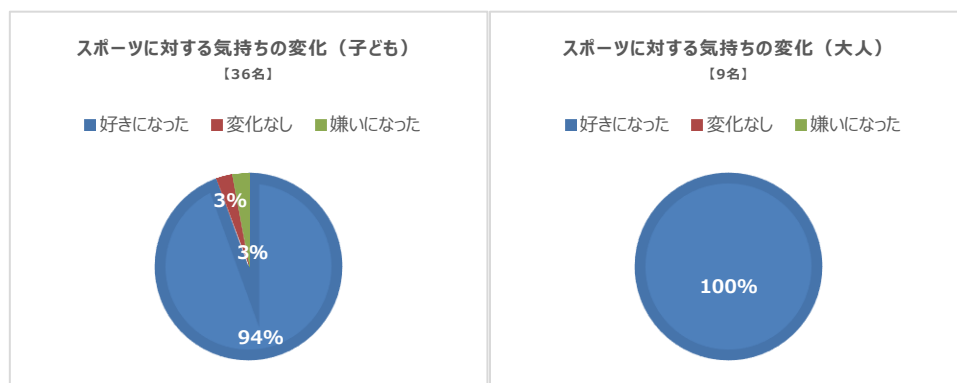
図表 16 年齢・性別



図表 17 スポーツに対する意識調査（イベント前）



図表 18 スポーツに対する意識調査（イベント後）

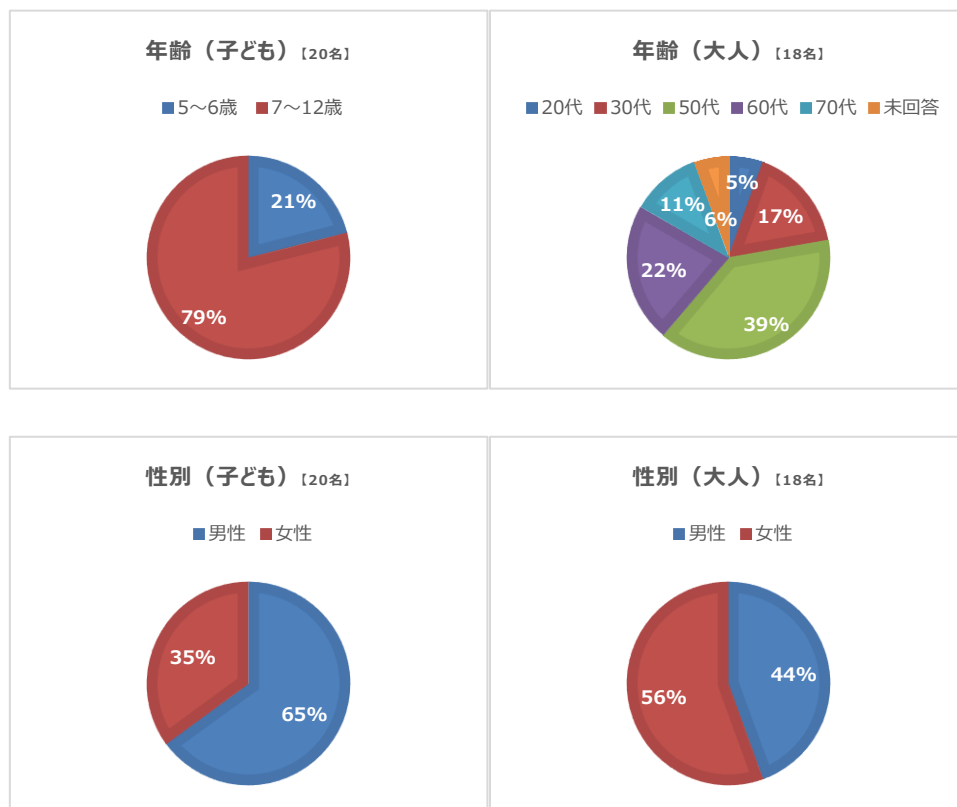


名称	オータム・チャレンジ・スポーツ 2020
開催日時	令和2年11月8日（日）
開催場所	天王寺スポーツセンター
アジェンダ	11:00～12:00 ダブルダッチ教室（講師：CL ユナイテッド） 13:00～14:00 ダブルダッチ教室（講師：CL ユナイテッド）
参加者概要	11:00～12:00 未就学児～小学生&親御様 計 50 名 13:00～14:00 未就学児～小学生&親御様 計 50 名

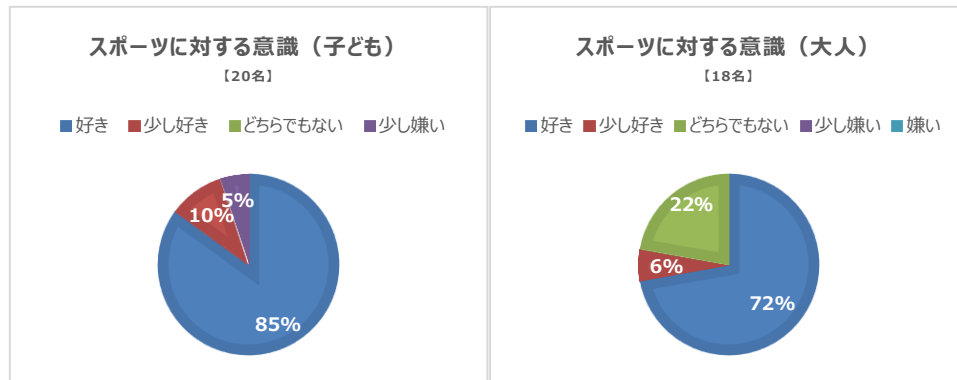
図表 19 当日の写真など



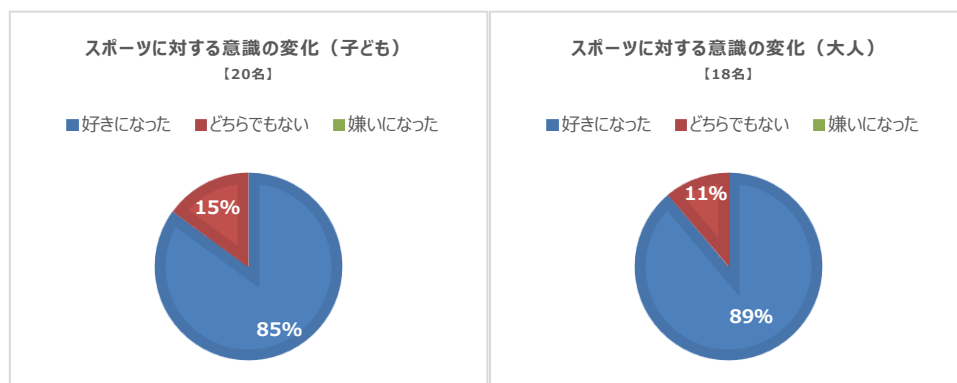
図表 20 年齢・性別



図表 21 スポーツに対する意識調査（イベント前）



図表 22 スポーツに対する意識調査（イベント後）



事業③将来の自分を思い描ける場を提供

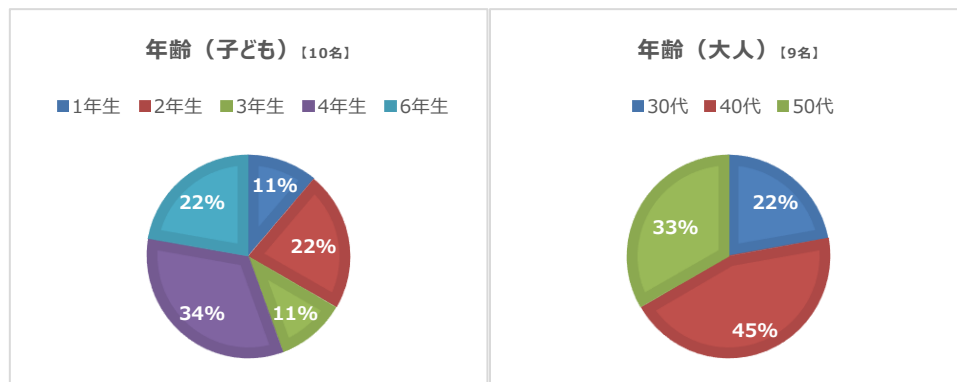
トップアスリートの生のプレイを「見る」ことで、子ども達の意識変容を促す。一昔前では、テレビ放送でプロ野球中継・Jリーグ中継を見ることができた。プロスポーツの試合を見ることで、子ども達はスポーツを好きになり、将来の夢に“プロスポーツ選手”と掲げる子どもが多くいたのではと考えられる。今事業では、プロ選手のプレイを生で見ることで、会場の熱気や、トップアスリートの能力の高さを肌で感じるができる。将来の夢に「プロスポーツ選手」と掲げる子ども達が減ってきている中で、自身の将来像をイメージする場として実施。

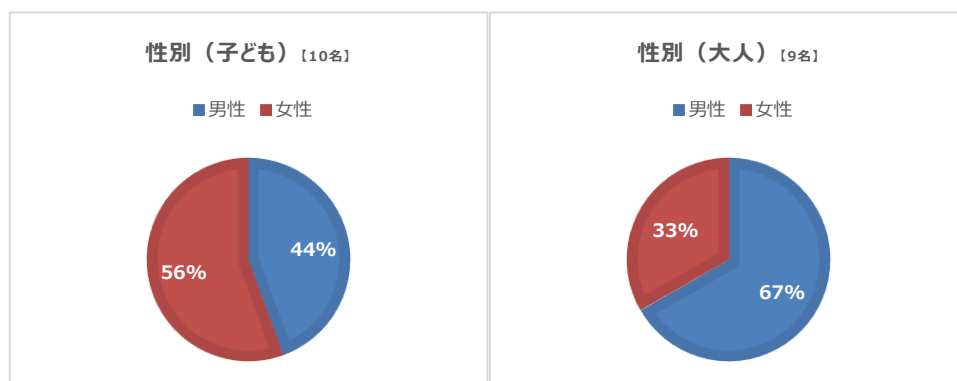
名称	オリックス・バファローズ戦 観戦ツアー！
開催日時	令和2年11月3日（火・祝）
開催場所	京セラドーム
アジェンダ	17:45 集合 18:00～21:00 試合観戦（講師：星野伸之さん（元プロ野球選手）、ミサイルマン・西代（お笑いタレント）、女と男（お笑いタレント））
参加者概要	小学1～6年生 10名 親御様 10名

図表 23 当日の写真など

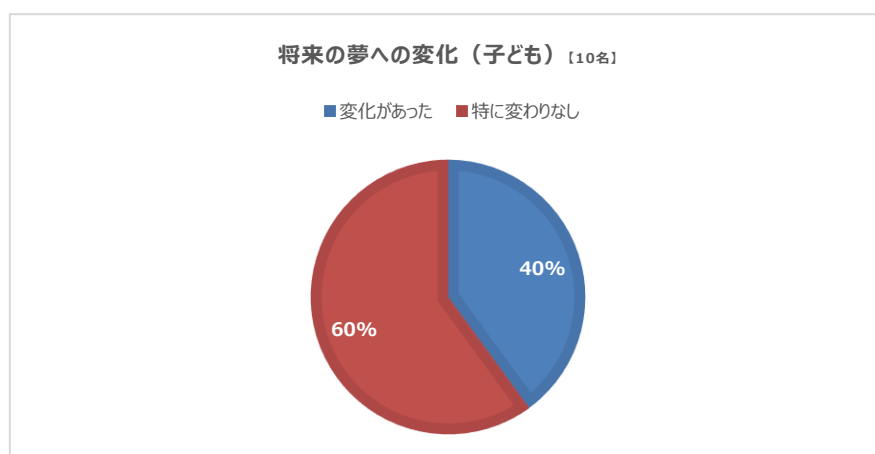
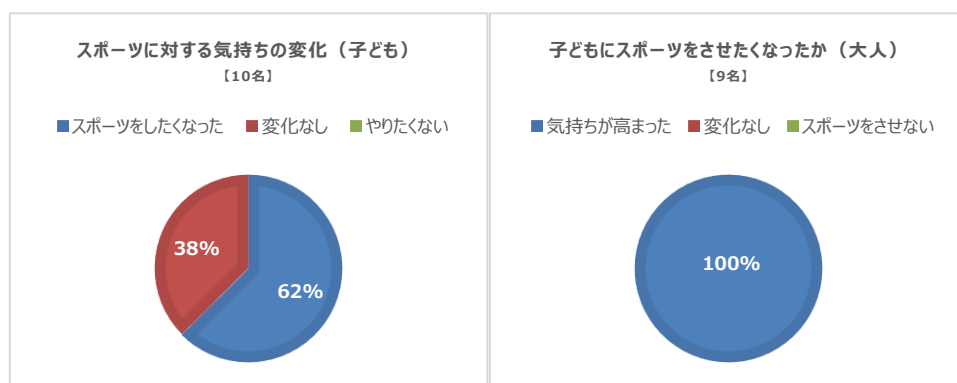


図表 24 年齢・性別





図表 25 スポーツに対する意識調査（イベント終了後）

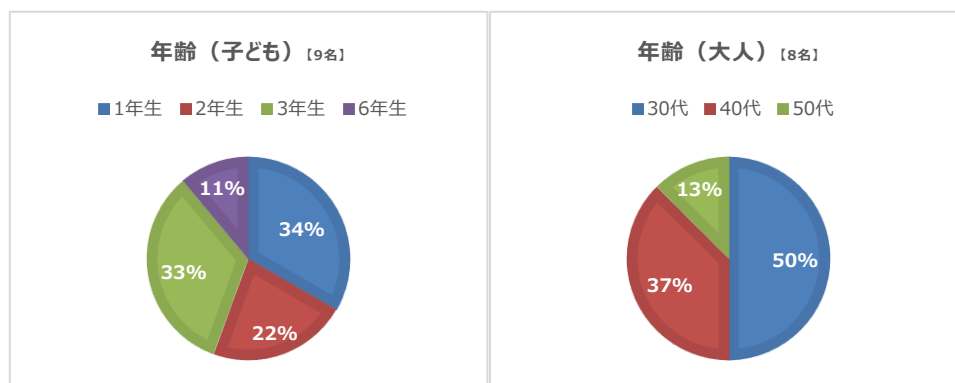


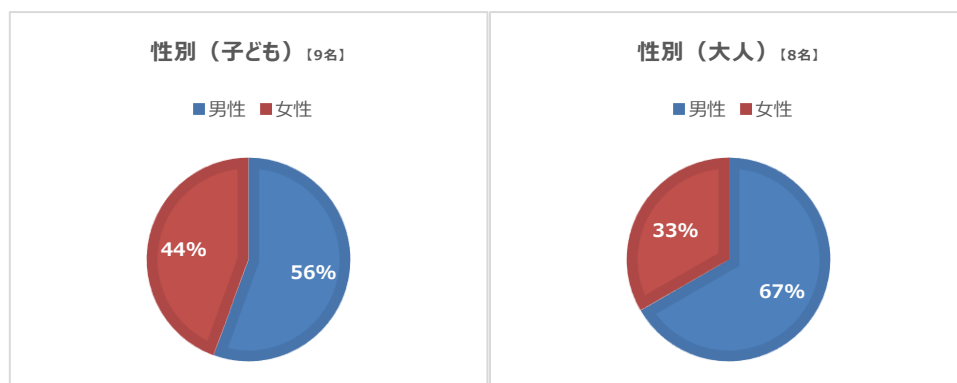
名称	セレッソ大阪戦 観戦ツアー！
開催日時	令和2年12月12日（土）
開催場所	ヤンマースタジアム長居
アジェンダ	13:45 集合 14:00～16:00 試合観戦（講師：近藤岳登（元プロサッカー選手）、ミサイルマン・西代（お笑いタレント）、女と男（お笑いタレント））
参加者概要	小学1～6年生 10名 親御様 10名

図表 26 当日の写真など

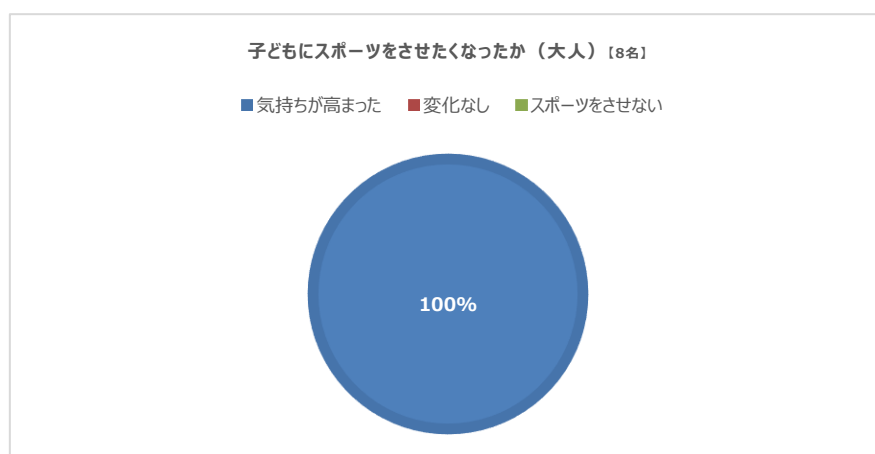
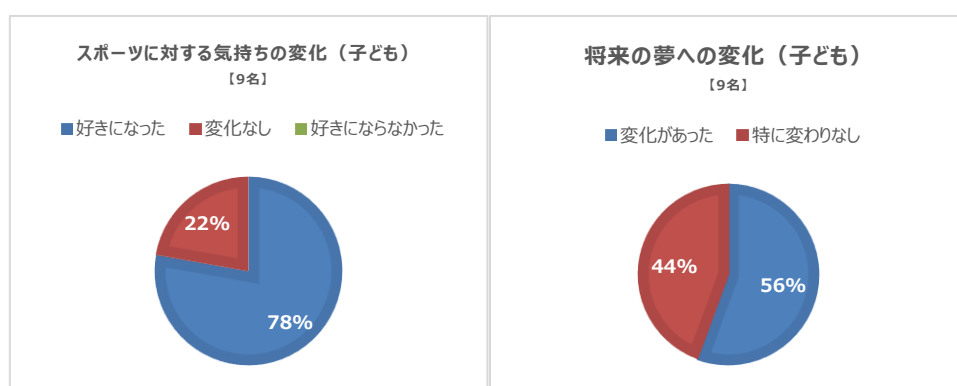


図表 27 年齢・性別





図表 28 スポーツに対する意識調査（イベント終了後）



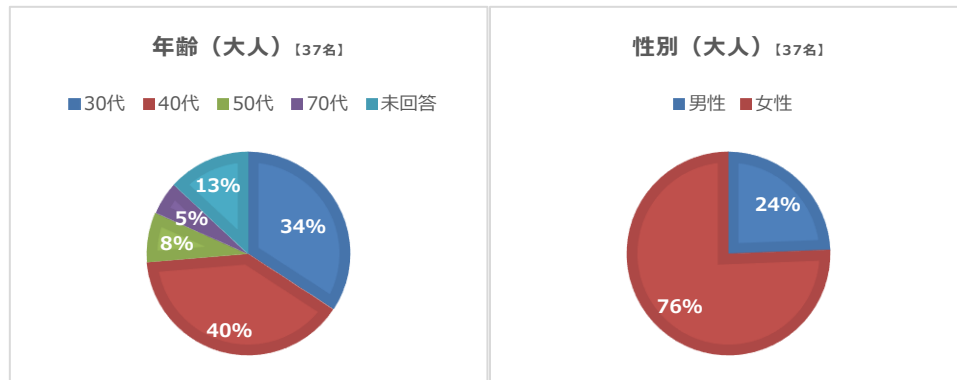
【子育て中の 20 代～40 代迄の女性を対象とした事業】

事業① カラダの使い方を知れる場

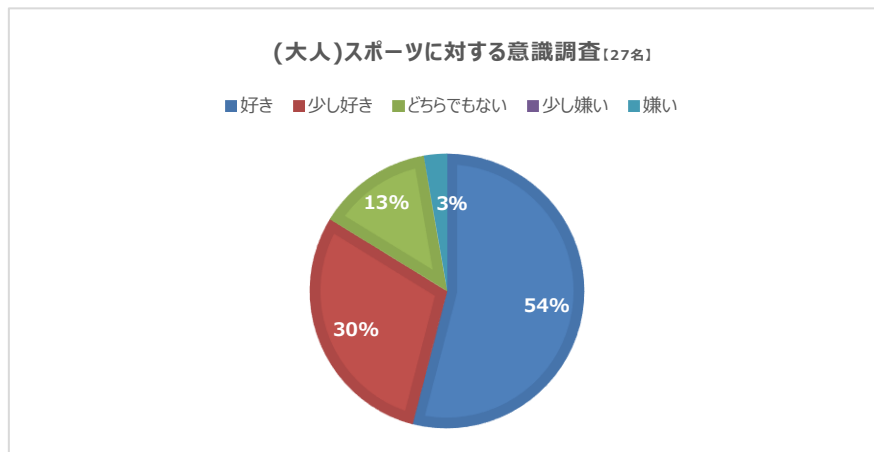
運動をしようと思っているが、出来ないという方が多く、そういった方が気軽に出来る運動法を紹介する場を設ける。イベントには、アメリカ NATA 公認アスレティックトレーナー山本邦子さんを講師としてお招きし、イオンモールりんくう泉南、イオンモール鶴見緑地の計 2 回ワークショップを実施。かけっこ教室、DOSA スポーツ能力測定会に参加する親御様を対象とした場として展開。

名称	笑って！ワクワク！スポーツ体験会！
開催日時	令和 2 年 10 月 24 日（土）
開催場所	イオンモールりんくう泉南
アジェンダ	<午前の部> 10:30～11:00 女性向け！呼吸を知れば体が整うワークショップ！（講師：山本邦子さん（アメリカ NATA 公認アスレティックトレーナー）、ミサイルマン・西代（お笑いタレント）、女と男（お笑いタレント）） <午後の部> 14:00～14:30 女性向け！呼吸を知れば体が整うワークショップ！（講師：山本邦子さん（アメリカ NATA 公認アスレティックトレーナー）、ミサイルマン・西代（お笑いタレント）、女と男（お笑いタレント））
参加者概要	<午前の部> 参加者の親御様 20 名参加 <午後の部> 参加者の親御様 20 名参加

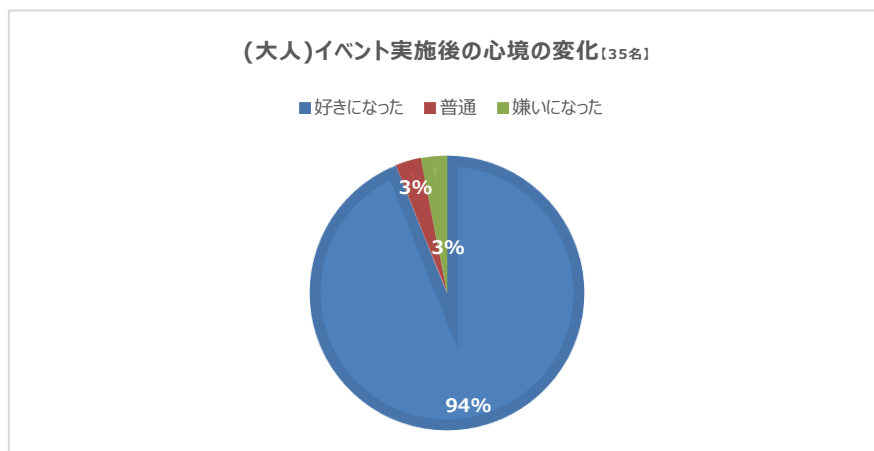
図表 29 年齢・性別



図表 30 スポーツに対する意識調査（イベント前）

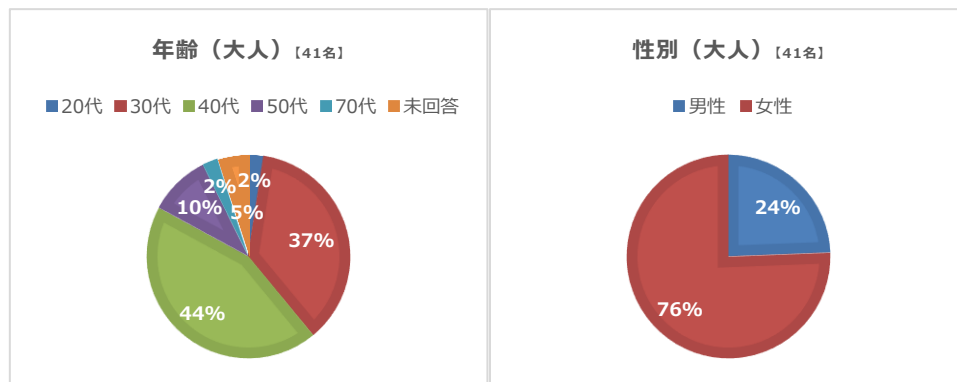


図表 31 スポーツに対する意識調査（イベント後）

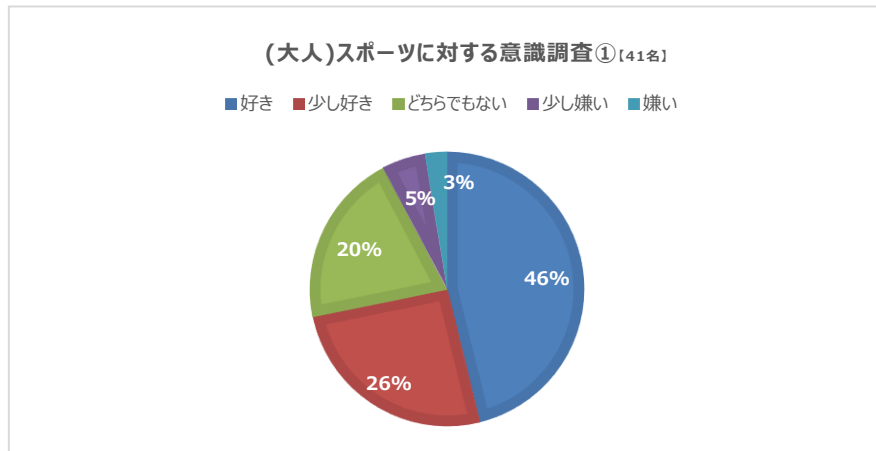


名称	笑って！ワクワク！スポーツ体験会！
開催日時	令和2年11月22日（日）
開催場所	イオンモール鶴見緑地
アジェンダ	<午前の部> 10:30～11:00 女性向け！呼吸を知れば体が整うワークショップ！（講師：山本邦子さん（アメリカ NATA 公認アスレティックトレーナー）、ミサイルマン・西代（お笑いタレント）、女と男（お笑いタレント）） <午後の部> 14:00～14:30 女性向け！呼吸を知れば体が整うワークショップ！（講師：山本邦子さん（アメリカ NATA 公認アスレティックトレーナー）、ミサイルマン・西代（お笑いタレント）、女と男（お笑いタレント））
参加者概要	<午前の部> 参加者の親御様 20名参加 <午後の部> 参加者の親御様 20名参加

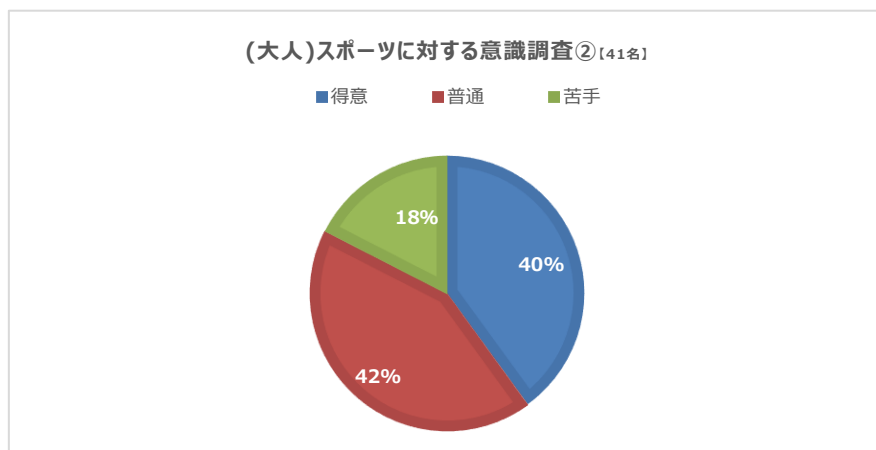
図表 32 年齢・性別



図表 33 スポーツに対する意識調査（イベント前）



図表 34 スポーツに対する意識調査（イベント後）



事業② 自宅で気軽にできるカラダの動かし方を紹介

イベントには参加出来ないが、本企画に興味を持たれた女性、更には人に身体を見せることに対して消極的な方に対して、「自宅でできるスポーツプログラム」として動画を制作し、「動画」を見ることで、スポーツを自宅でも継続して意識できるようにする。更には、吉本興業のお笑い芸人が動画に出演することで、動画に見易さが加わり、「スポーツ」を行ううえでのヒントを親しみやすく、分かりやすい内容として収集することが可能である。

名称	女性必見！普段の生活でも実践できる！お手軽スポーツ！
提供期間/回数	計 3 本作製
提供方法	よしもとスポーツ公式 YouTube チャンネルにて配信
参加者概要	YouTube での公開という事もあり、どなたでも視聴可能
効果検証方法	VTR①「朝、お出かけの準備をしているときも“スポーツ”」 VTR②「移動しているときも“スポーツ”」 VTR③「お家の中で、ちょっと“本格的なスポーツ”」 計 3 本の動画を制作し、よしもとスポーツの YouTube チャンネルにて公開。女性向けの動画ということもあり、構成団体のワコールホールディングスの会員向けメルマガにて動画&アンケートを送付、効果検証を行う。

図表 35 動画の構成/キャプチャー画像など



VTR①「朝、お出かけの準備をしているときも“スポーツ”」

・01「朝食を作りながら、スポーツ！」

つまさき立ち（スタンディングフレイズ）は、ヒラメ筋を鍛えることができるトレーニング。ヒラメ筋を鍛えることで、「走っても疲れにくい足腰を作れる」「足腰が強くなり、体幹が良くなる」「足の気だるさを感じなくなる」効果が期待できる。

・02「歯磨きをしながら、スポーツ！」

片脚立ち（二ーリフト）は、体幹や腹筋、太ももを鍛えることができるトレーニング。腹筋を鍛えることで、「ぽっこりお腹の改善」「見た目の美しさ」太ももを鍛えることで「足細見せ」の効果が期待できる。

・03「メイクをしながら、スポーツ！」

椅子に座って太ももにクッションを挟んで力を入れることで、引き締め運動に。疲れたら力を抜いて休憩し、回復したらまた力を入れて続ける。

VTR②「移動しているときも“スポーツ”」

・01「移動中、歩きながらスポーツ！」

お腹をへこませ、背すじを伸ばしあごを軽く引く。つま先で地面を力強くけり出し、かかとから着地。普段10歩で歩く距離を8歩で歩くのが大まかの目安、歩幅はプラス10cm。

・02「移動中、立ち止まりながらスポーツ」

立ち止まった時も、「お尻の穴」を締めるようにして立つと下腹や内ももが引き締まる。さらに、持っているカバンなどを利用して肩甲骨をストレッチ！

・03「階段があればラッキー！階段を上り下りしながらスポーツ！」

階段を見たら、うんざりせずラッキーと思うようにする。上り素早く、下りはゆっくりが体に利かせるコツ。慣れてきたら「一段飛ばし上り」にも挑戦！

VTR③「お家の中で、ちょっと“本格的なスポーツ”」

01「お腹周りが気になる方へおススメの、ちょっと本格的な運動」

お腹周りのシェイプアップ運動3選！

①クランチ→レッグレイズ ②ヒップリフト ③シットアップ

02「下半身が気になる方へおススメの、ちょっと本格的な運動」

下半身スッキリエクササイズ3選！

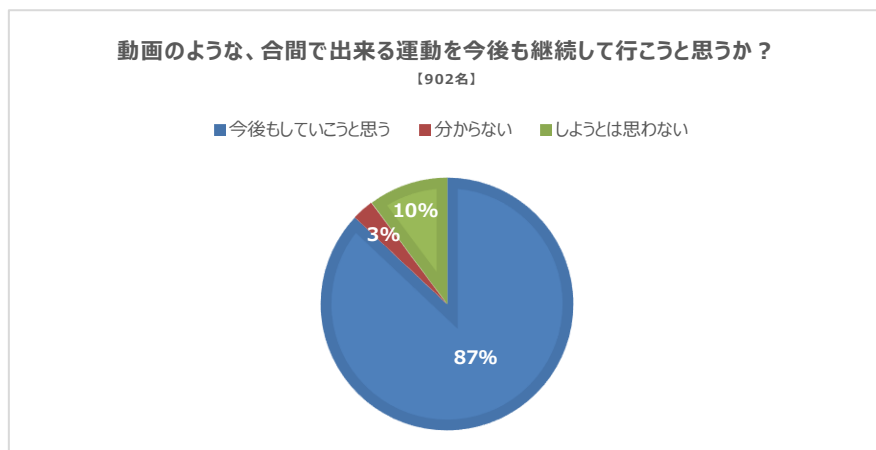
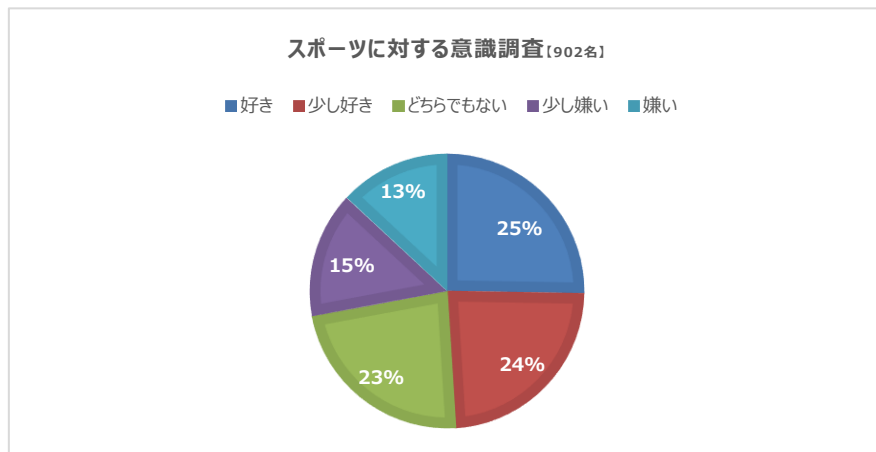
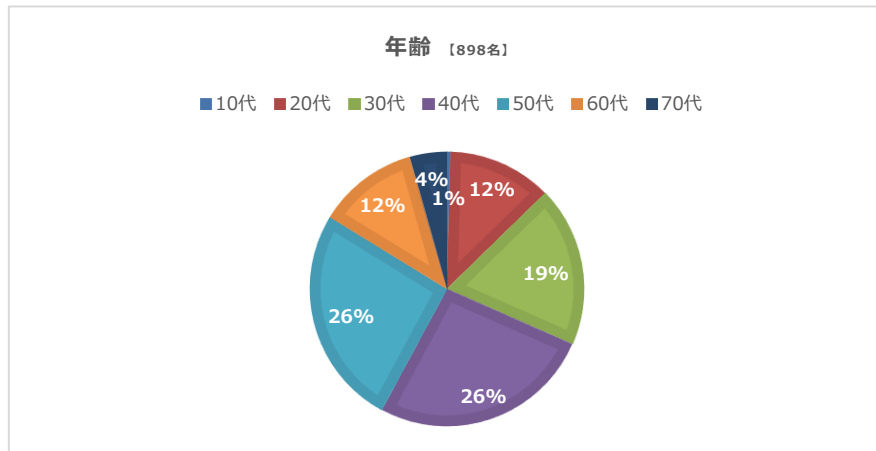
①ワイドスクワット ②サイドランジ ③リピーター

03「二の腕が気になる方へおススメの、ちょっと本格的な運動」

二の腕をスッキリさせるエクササイズ3選！

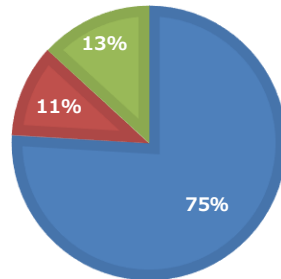
①ディップス ②腕立て伏せ ③後ろ手（背中）バイバイ

図表 36 年齢 / スポーツに対する意識変容



明日以降、スポーツをしようと思う【880名】

■ しようとは思う ■ しない ■ 分からない



3. 本事業の実施体制

(1) 本事業の実施体制

本事業の実施体制は下記の通り。

実証フィールド	イオンモールりんくう泉南、イオンモール鶴見緑地、京セラドーム、ヤンマースタジアム長居、大阪城公園、天王寺スポーツセンター
代表団体	吉本興業株式会社
構成団体	株式会社ワコールホールディングス、学校法人近畿大学、一般社団法人スポーツ能力発見協会*
構成団体以外の 参画団体	大阪市、公益財団法人日本陸上競技連盟

※ 「*」は Sport in Life コンソーシアム加盟団体

(2) 本事業の実施スキーム

未就学児～小学校低学年を対象とする本企画では「参加した子どもがスポーツの楽しさを理解する」ことが何よりも大切であると考えており、身体を動かすことの楽しさを引き出すことを目的に、吉本興業のお笑い芸人がイベントに参加し、笑い溢れる環境を創出する。更には20～40代の女性を対象とする企画も同時に行う予定としており「生活にスポーツを取り入れる」ことを目標として、女性が身体の動かし方を知れるコンテンツを提供する。スポーツという言葉に拒否反応を示す女子も多く、「健康や美しさの向上」の為の手段として、女性には訴求していく。本企画では、子ども向け、そして女性向けの取り組みを同時に実施することで、「親子でスポーツに対する意識を高める」場を構築していく。

・ワコールホールディングス：

「知見」や「女性マーケティングデータ」を最大限に活用することで効果的な認知拡大、効果検証へ繋がる。

・スポーツ能力発見協会：

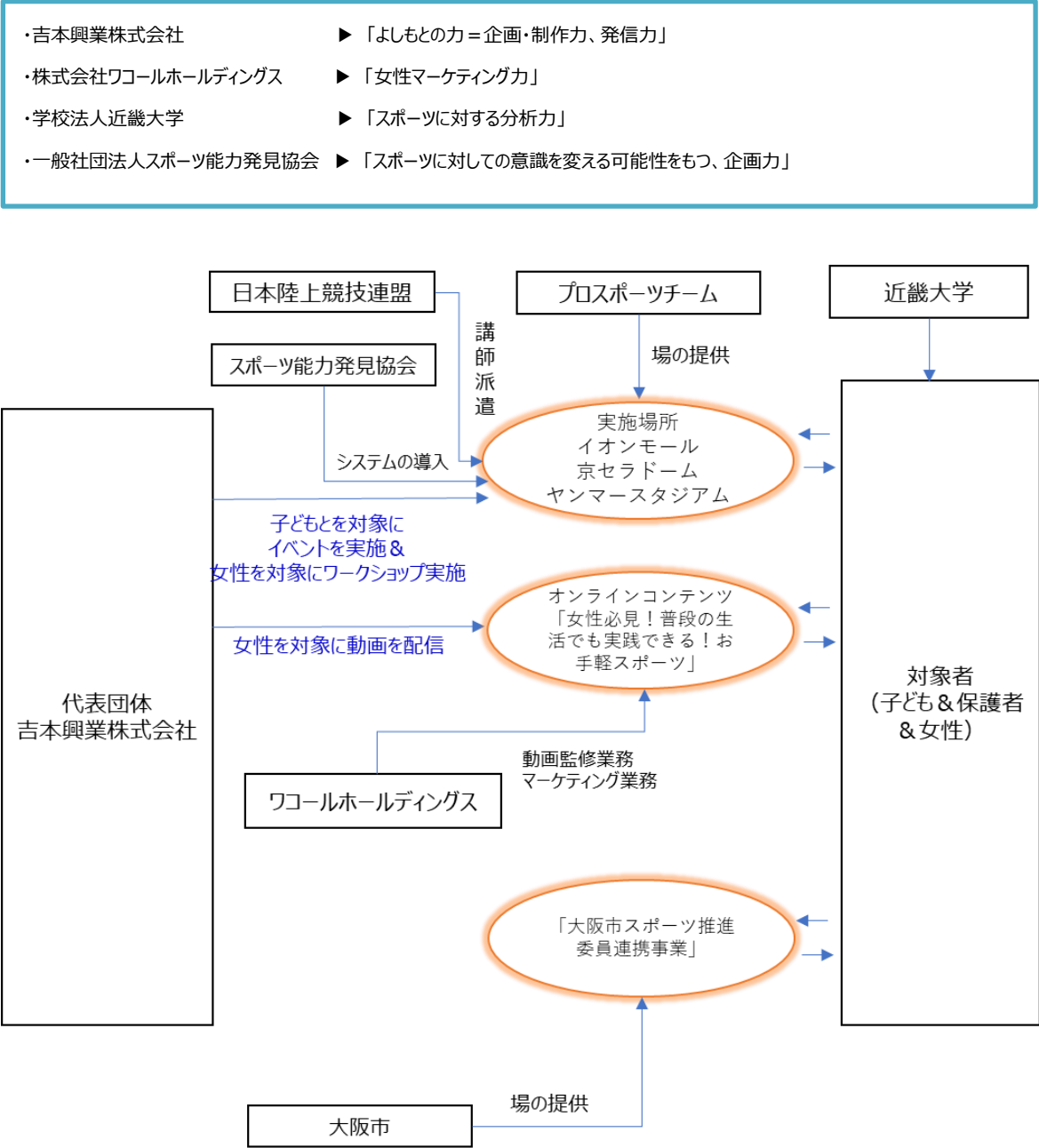
DOSA スポーツ能力測定会を全国各地で既に実施している実績があり、子ども達の将来設計に役立つ取組みをされている。そういった経験、知見を今事業に取り入れることで、子ども達が自身の才能を「知る」場をつくる。

・近畿大学：

今回の実証実験を客観的に監修・検証・分析をすることで、本企画後の持続性～全国的に拡

大していくことを目指す。

図表 37 プロジェクトスキーム図



4. 事業の実施効果（スポーツ実施頻度、実施意欲の改善効果）

（1）効果検証方法

【未就学児～小学校低学年の子ども達への実施効果】

未就学児～小学校低学年の子ども達に対して実施した計 2 回のイオンモールでのスポーツ体験イベントの効果を検証するために、下記のような考え方で事後（事前の意識、行動を含む）、1 か月後の追跡調査を行い、スポーツへの実施意欲の変化、実施時間の変化に関する効果検証を実施した。

期待される効果と検証方法は下記の通り。

図表 38 期待される効果と検証方法（児童）

期待される効果	検証方法
スポーツの実施意欲の変化	スポーツ体験イベント後（事後調査）にアンケート調査を実施し、スポーツ体験イベント前後におけるスポーツへの実施意欲の変化について比較分析を行い、スポーツの実施意欲改善効果を検証。
スポーツ実施時間の変化	スポーツ体験イベント後（事後調査）、及びスポーツ体験イベント終了から 1 か月経過後（追跡調査）にアンケート調査を実施し、スポーツ体験イベント前後、及びスポーツ体験イベント終了から一定期間経過後のスポーツ実施時間について比較分析を行い、スポーツ習慣の定着効果を検証。

また、大阪市内で、スポーツ推進委員が中心となり日常的に行っているスポーツ体験型イベントとの連携事業の中で、大阪城トライアスロン大会 2020 とオータム・チャレンジ・スポーツ 2020 の 2 回のイベントのダブルタッチ教室において、スポーツ体験イベントの効果を検証するために、下記のような考え方で事後（事前の意識、行動を含む）調査を行い、スポーツへの実施意欲の変化に関する効果検証を実施した。

期待される効果と検証方法は下記の通り。

図表 39 期待される効果と検証方法（児童）

期待される効果	検証方法
スポーツの実施意欲の変化	スポーツ体験イベント後（事後調査）にアンケート調査を実施し、スポーツ体験イベント前後におけるスポーツへの実施意欲の変化について比較分析を行い、スポーツの実施意欲改善効果を検証。

【子育て中の 20 代～40 代迄の女性への実施効果】

スポーツ体験イベントに参加した児童の保護者を対象に、身体の使い方、動かし方について紹介を行い、下記のような考え方で事後（事前の意識、行動を含む）、追跡調査を行い、スポーツへの取組意欲向上、及び習慣化に関する効果検証を実施した。追跡調査の中で、一日の運動時間の改善効果についても分析を行った。

期待される効果と検証方法は下記の通り。

図表 40 期待される効果と検証方法（女性）

期待される効果	検証方法
スポーツの実施意欲の改善	スポーツ体験イベント後（事後調査）にアンケート調査を実施し、スポーツ体験イベント前後におけるスポーツへの取組意欲について比較分析を行い、スポーツの実施意欲改善効果を検証。
スポーツ実施の習慣化	スポーツ体験イベント終了から 1 か月経過後（追跡調査）にアンケート調査を実施し、スポーツ体験イベント終了から一定期間経過後のスポーツ実施時間や実施に向けての意識について分析を行い、スポーツ習慣の定着効果を検証。

また、「自宅で気軽にできるカラダの動かし方」についての動画を配信し、動画視聴前後のスポーツへの取組意欲向上に関する効果検証を実施した。

期待される効果と検証方法は下記の通り。

図表 41 期待される効果と検証方法（女性）

期待される効果	検証方法
スポーツの実施意欲の改善	動画視聴後（事後調査）に WEB アンケート調査を実施し、動画視聴前後におけるスポーツへの取組意欲について比較分析を行い、スポーツの実施意欲改善効果を検証。

(2) 効果検証の結果

【未就学児～小学校低学年の子ども達への実施効果】

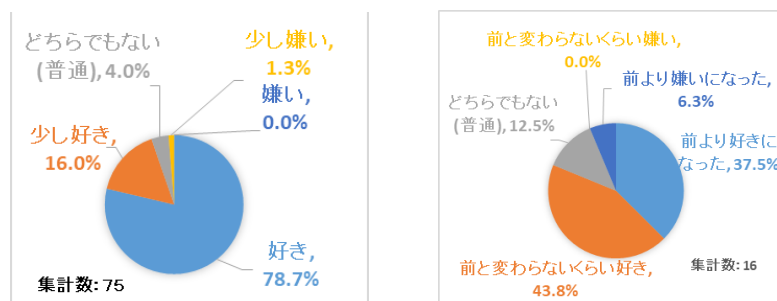
未就学児～小学校低学年の子ども達に対して期待される効果の検証結果は下記の通り。

①スポーツへの意識、実施意欲の改善効果

計2回のイオンモールでのスポーツ体験イベント後（事後調査）にアンケート調査（事前の意識、行動を含む）を実施し、スポーツ体験イベント前後におけるスポーツへの意識、取組意欲について比較分析を行った。

「このスポーツ体験イベント参加前まで運動やスポーツが好きでしたか」という設問に対して、「好き」59名（78.7%）、「少し好き」12名（16.0%）、「どちらでもない（普通）」3名（4.0%）、「少し嫌い」1名（1.3%）であったが、「少し好き」「どちらでもない（普通）」「少し嫌い」と答えた16名が、「このスポーツ体験イベントに参加して運動やスポーツが好きになったか」という設問に対して、「前より好きになった」6名（37.5%）、「前と変わらないくらい好き」7名（43.8%）、「どちらでもない（普通）」2名（12.5%）と、児童の運動やスポーツへの意識の向上がやや見られた。

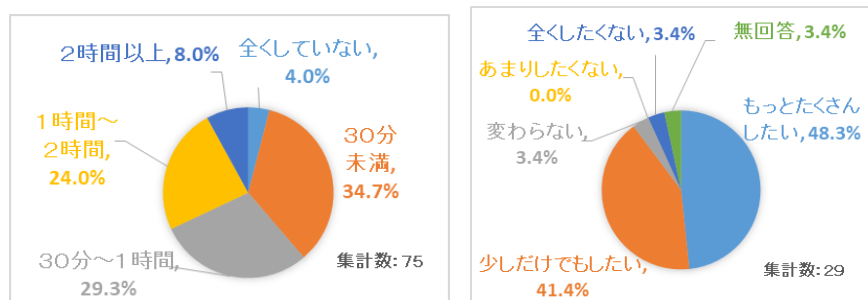
図表 42 スポーツへの意識の改善(イオンモール)



【共に事後調査】

また、「スポーツ体験イベント実施前に1日どれくらい運動やスポーツをやっていたか（体育の授業以外）」という設問で、「全くしていない」3名（4.0%）、「30分未満」26名（34.7%）であったが、その回答をした29名に対して、「このスポーツ体験イベント後、これからの生活の中で運動やスポーツをしたいか」の設問に対して、「もっとたくさんしたい」14名（48.3%）、「少しだけでもしたい」12名（41.4%）と回答し、およそ9割の児童にスポーツ実施意欲の改善が見られた。

図表 43 スポーツへの実施意欲の改善(イオンモール)

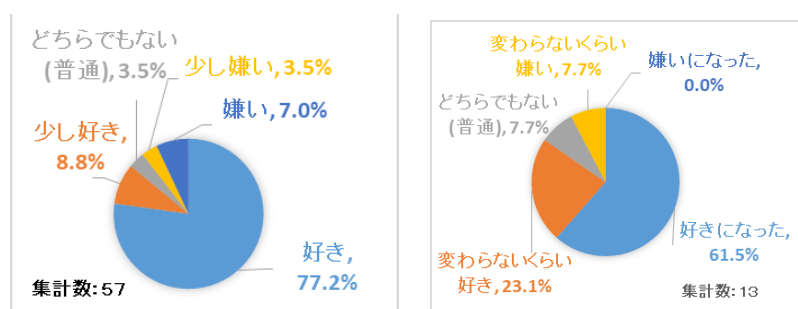


【共に事後調査】

大阪市スポーツ推進委員会が中心となり行った計 2 回のスポーツ体験型イベント後（事後調査）にアンケート調査（事前の意識、行動を含む）を実施し、スポーツ体験イベント前後におけるスポーツへの意識、取組意欲について比較分析を行った。

「このスポーツ体験イベント参加前まで運動やスポーツが好きでしたか」という設問に対して、「好き」44 名（77.2%）、「少し好き」5 名（8.8%）、「どちらでもない（普通）」2 名（3.5%）、「少し嫌い」2 名（3.5%）、「嫌い」4 名（7.0%）であったが、「少し好き」「どちらでもない（普通）」「少し嫌い」「嫌い」と答えた 13 名が、「このスポーツ体験イベントに参加して運動やスポーツが好きになったか」という設問に対して、「前より好きになった」8 名（61.5%）、「前と変わらないくらい好き」3 名（23.1%）、「どちらでもない（普通）」1 名（7.7%）、「変わらないくらい嫌い」1 名（7.7%）と、児童の運動やスポーツへの意識の向上が見られた。

図表 44 スポーツへの意識の改善(大阪市イベント)



【共に事後調査】

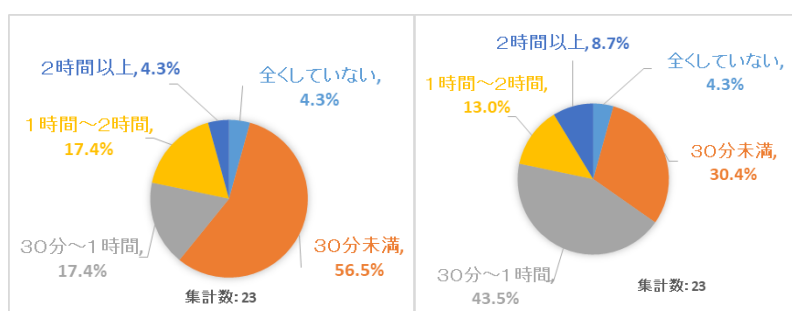
②スポーツ実施時間の改善効果

スポーツ体験イベント後（事後調査）、及びスポーツ体験イベント終了から 1 か月経過後（追跡調査）にアンケート調査を実施し、スポーツ体験イベント前後、及びプログラム

終了から一定期間経過後のスポーツ実施頻度について比較分析を行った。

追跡調査に回答した 23 名について、スポーツの実施時間に関する設問について、スポーツ体験イベント後（事後調査）の調査では、「それまで運動やスポーツを全くしていない」1 名(4.3%)、「30 分未満」13 名(56.5%)であったが、1 か月経過後（追跡調査）で、運動やスポーツを行う時間が「30 分～1 時間」10 名(43.5%)、「1 時間～2 時間」3 名(13.0%)、「2 時間以上」2 名（8.7%）となっており、運動やスポーツを行う時間 30 分以上が、イベント参加前 39.1%から 1 か月経過後 65.2%と、スポーツ実施習慣の定着が一定程度見られた。

図表 45 スポーツへの実施時間の改善



【事後調査】

【追跡調査】

その中で、特に 1 か月経過後（追跡調査）の調査で、運動やスポーツを行う時間が「1 時間以上増えた」2 名（18.2%）、「30 分増えた」9 名（81.8%）の 11 名について、それまでの運動やスポーツの実施状況を見てみると、「全くしていない」1 名（9.1%）、「30 分未満」7 名（63.6%）、「1 時間～2 時間」2 名（18.2%）、「2 時間以上」1 名（9.1%）となっており、「全くしていない」の 1 名は「30 分増えた」となり、「30 分未満」の 7 名すべてが「30 分増えた」となっていることから、習慣化に結びついている状況が見られた。イベント参加者 75 名のうち、イベント前から 1 日 1 時間以上運動をしている児童が 24 名で、1 か月後のアンケートから 8 名が増加した。合計で 32 名（42.7%）が 1 時間以上運動をしている結果となった。

図表 46 運動やスポーツの実施時間増加の分析



【追跡調査】

【事後調査】

【子育て中の 20 代～40 代迄の女性への実施効果】

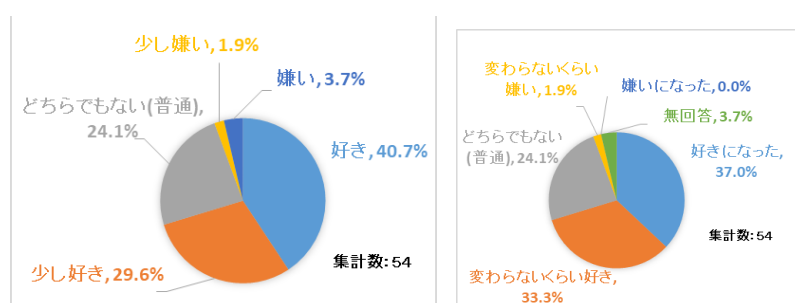
子育て中の 20 代～40 代迄の女性に対して期待される効果の検証結果は下記の通り。

①スポーツへの意識、実施意欲の改善効果

計 2 回のイオンモールでのスポーツ体験イベント後（事後調査）にアンケート調査（事前の意識、行動を含む）を実施し、スポーツ体験イベント前後におけるスポーツへの意識、取組意欲について比較分析を行った。

「このスポーツ体験イベント参加前まで運動やスポーツが好きでしたか」という設問に対して、「好き」22 名（40.7%）、「少し好き」16 名（29.6%）、「どちらでもない（普通）」13 名（24.1%）、「少し嫌い」1 名（1.9%）、「嫌い」2 名（3.7%）であったが、「このスポーツ体験イベントに参加して運動やスポーツが好きになったか」という設問に対して、「前より好きになった」20 名（37.0%）、「変わらないくらい好き」18 名（33.3%）、「どちらでもない（普通）」13 名（24.1%）、「変わらないくらい嫌い」1 名（1.9%）と回答しており、大きな変化は見られなかった。

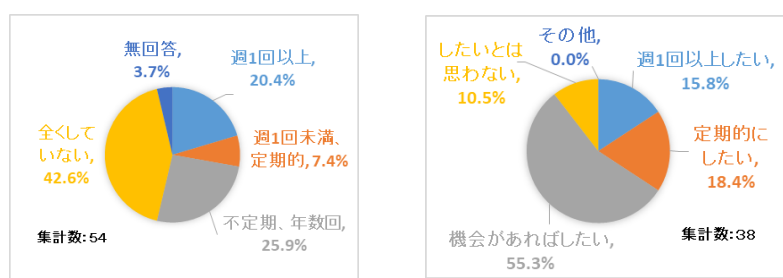
図表 47 スポーツへの意識の改善



【共に事後調査】

しかしながら、これまでの運動やスポーツの実施状況とその意欲のイベント後の変化を見ると、「これまで全くしていない」23 名(42.6%)であるが、イベント後には、「したいと思わない」4 名(10.5%)、「週 1 回以上したい」6 名(15.8%)、「定期的にしたい」7 名(18.4%)、「機会があればしたい」21 名(55.3%)と回答し、9 割近くが運動やスポーツを行いたいと考えており、改善が見られた。

図表 48 スポーツへの実施意欲の改善

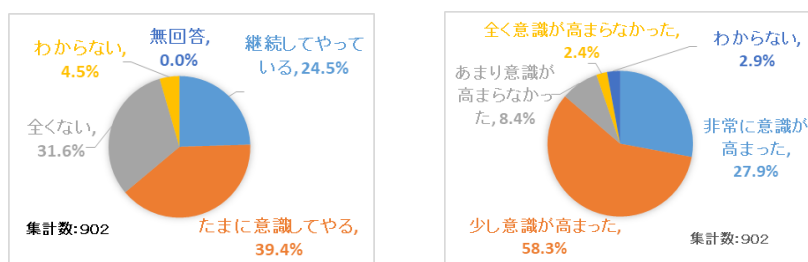


【共に事後調査】

また、「自宅で気軽にできるカラダの動かし方」についての動画を配信し、動画視聴前後のスポーツへの取組意欲向上について比較検討を行った。

「動画を見る前に生活の中で運動を行ったことがあるか」という設問に対して、「継続してやっている」221名(24.5%)、「たまに意識してやっている」355名(39.4%)、「全くやっていない」285名(31.6%)であったが、視聴後、「継続してやっていこうと思うか」という設問に対して、「非常に意識が高まった」252名(27.9%)、「少し意識が高まった」526名(58.3%)と意識の改善が見られた。

図表 49 生活の中での運動への実施意欲の改善



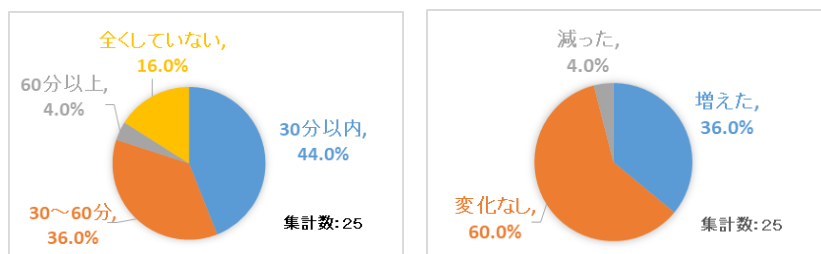
【共に事後調査】

②スポーツ実施習慣の定着効果

スポーツ体験イベント終了から1か月経過後（追跡調査）にアンケート調査を実施し、スポーツ体験イベント前後、及びプログラム終了から一定期間経過後のスポーツ実施頻度について比較分析を行った。

追跡調査に回答した25名について、スポーツの実施時間に関する設問について、1日の運動やスポーツを行っている時間は、「全くしていない」4名(16.0%)、「30分以内」11名(44.0%)、「30～60分」9名(36.0%)、「60分以上」1名(4.0%)であったが、「運動やスポーツの実施時間が増えたか」の設問では、「増えた」9名(36.0%)、「変化なし」15名(60.0%)、「減った」1名(4.0%)と回答していることから、スポーツ実施習慣の定着効果があったとは言えない。

図表 50 スポーツへの実施習慣の定着



【共に追跡調査】

しかしながら、運動やスポーツに対しての意識については、「モチベーションが上がったか」の設問に対して、「はい」19名(76.0%)で、「イベント内で行った身体の使い方、動かし方について紹介した内容を実践しているか」の設問に対して、「実践している」20名(80.0%)と回答しており、意識の向上が一定程度見られる。

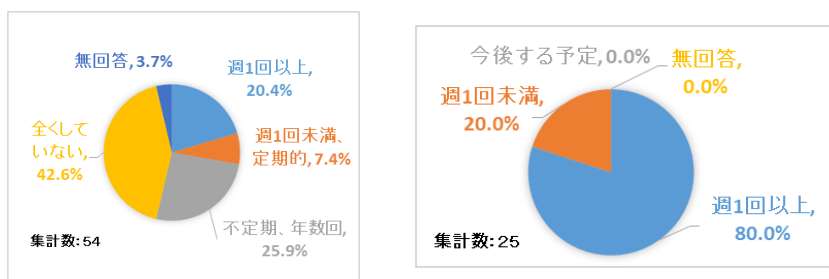
図表 51 スポーツへの意識の改善



【共に追跡調査】

また、イベント前までの運動やスポーツの実施状況は、週1回以上が20.4%(54名中11名)であったが、1か月後の追跡調査では、母集団が少なくなったものの、80.0%(25名中20名)という結果であった。

図表 52 運動、スポーツの実施状況



【事後調査】

【追跡調査】

5. スポーツ実施改善の要因の分析（阻害要因や促進要因の仮説検証）

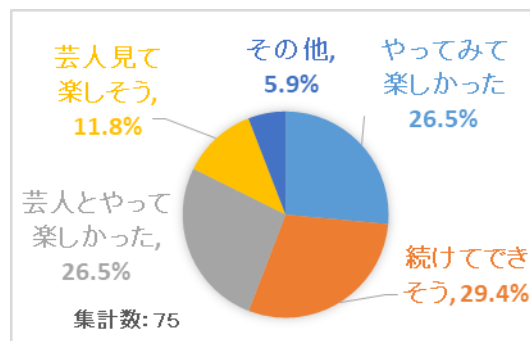
【未就学児～小学校低学年の子どもにおけるスポーツ実施改善の要因の分析】

未就学児～小学校低学年の子どものスポーツ実施の阻害要因について検証、分析を実施した。

計2回のイオンモールでのスポーツ体験イベント後（事後調査）のアンケート調査（事前の意識、行動を含む）で「運動やスポーツが好きになったか」という設問で、「前より好きになった」「前と変わらないくらい好き」と回答した計70名について、その理由について分析を行った。

その結果、「やってみて楽しかった」26.5%、「続けてできそう」29.4%であった。このようなイベントに参加することにより、身体を動かす楽しさを感じることで、スポーツ実施への抵抗を軽減し、容易に継続ができることを感じさせることができるということを示唆している。また、「芸人とやってみて楽しかった」26.5%、「芸人がやっているのを見て楽しそうだから」11.8%という結果から、面白さを伝え、笑いを発信する芸人が身体を動かすことの楽しさを伝えることが有効であることも示唆された。

図表 53 イベントに参加して運動やスポーツが好きになった理由



【事後調査】

また、どんな条件や状況であればスポーツできるか(自由記述)という設問に対して、「場所」についての記述が一番多く、続いて「一緒にする友達や兄弟姉妹」、「やる機会」の順に多くなっている。これにより、やれる場所がないこと、一緒にやる人がいないこと、やる機会がないことがスポーツ実施を阻害していることが示唆された。

図表 54 どんな条件や状況であればスポーツできるか

一緒にする友達	公園が近くにあったら
一緒にする友達がいたら	公園や室内などの場所があれば
一緒にやる友達がいれば	運動場
一緒にやる友達がいれば	サッカーができる場所が近くにあれば
一緒にやる友達がいれば	施設が近くにある
一緒にやる友達がいれば	施設が近くにあれば
一緒にやる友達がいれば	施設が近くにあれば
一緒にやる友達がいれば	スポーツのできる広場
一緒にやる友達がいれば	する場所があれば
一緒にやる友達がいれば	卓球場があれば
一緒にやれる人・教えてくれる人がいれば	近くにあればやりたい
誰かと一緒にできたら	近くにグラウンドがあったらいいと思う
弟(1才)と一緒に遊べるスポーツ	近くにスポーツができる場所があればいい
姉妹と一緒にならする	近くにやるところがあったらいい
友達がいたから	広いスペース
友達とやりたい	広場
遊びに行ったとき	毎日練習できるところがあれば
運動が楽しいから	近くに施設があったり、一緒にやる友達がいたら
健康	色々なスポーツを体験できる場所
動きたくなった時	近くに習える場所があればいい
スポーツをしたいと思った時	教えてくれるイベントがあったら
遊びながらできるスポーツ	教えてくれる人がいる、する環境がある
スポーツを見たとき	こんな体験会があれば
楽しかったらしたい	マラソン大会があれば参加する
みんなを見ていたらしたい	習い事であれば

【事後調査】

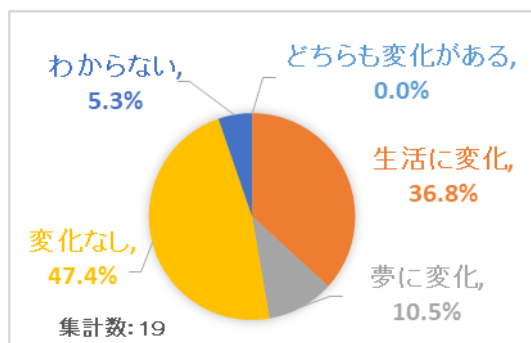
加えて、「スポーツ選手になりたいか、それはどんなスポーツで、その理由は何か」（自由記述）という設問に対して、イベント参加児童 75 名中 40 名が「になりたい」と回答している。さらに、その中でプロスポーツを観戦した児童 19 名に「今後の生活や将来の夢に変化があると思うか」という設問で、「生活に変化」36.85、「夢に変化」10.5%と回答しており、スポーツを実際にやっていること、プロスポーツを実際に見ることが少なからず影響していることを示唆している。

図表 55 スポーツ選手になりたいか、それはどんなスポーツで、その理由は何か

水泳	自転車、羽虫ペダルを見たから(アニメ)
サッカーをしていて楽しいから	陸上、楽しそうだから
勝ちたいから	サッカー、ボールを蹴ったりできるから
野球が好きだから	ウサイン・ボルト
サッカーが面白いから	卓球選手、楽しそうだから
カッコいいから	野球です。理由は、野球が好きだから。
サッカー	思ったことがない
ドッジボール	野球選手のスイングがしたいから、投げたいから
空手:好きだから	陸上:早くなりたいから 鉄棒:鉄棒が上手いから
水泳:習っているから	プロサーファー、面白い、技がかっこいい
陸上選手:楽しそうだから	ある。かっこいいから
バトミントン:バトミントンを体験して楽しかったから	ゴルフ
スイミング:汗が流れて気持ちいいから	陸上
スイミング:スイミングでオリンピックに出たいから	プロバスケット選手、ダンクを決めたいから
サッカー	野球選手になりたい、お金がいっぱいもらえるから
スイミング:スイミングが好きだから	陸上
テニス:習っているから	野球
テニス選手	バスケ、すてきだから
サッカー:サッカーを習っているから	バレーボールをなっているから
サッカー	楽しいから

【事後調査】

図表 56 今後の生活や夢に変化があると思うか



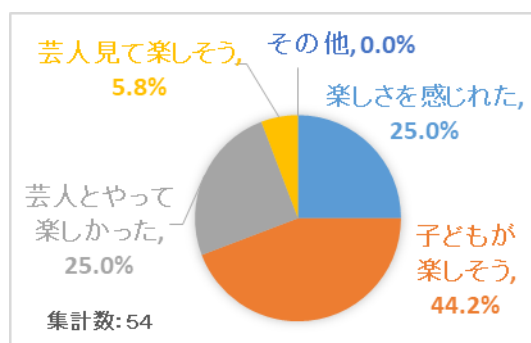
【スポーツ観戦後追跡調査】

【子育て中の 20 代～40 代迄の女性の女性におけるスポーツ実施改善の要因の分析】

計 2 回のイオンモールでのスポーツ体験イベント後（事後調査）のアンケート調査（事前の意識、行動を含む）で運動やスポーツが好きになったかという設問で、「前より好きになった」「前と変わらないくらい好き」と回答した計 38 名について、その理由について分析を行った。

「子どもが楽しそう」と回答した保護者が 44.2%で、母親も親子で参加できることが、スポーツ実施頻度に一定の影響を与えていることが示唆された。また、「芸人とやって楽しかった」25.0%、「芸人を見て楽しそうだった」5.8%と子どもたち同様、芸人の参加が少なからず影響していることが示唆された。

図表 57 イベントに参加して運動やスポーツが好きになった理由

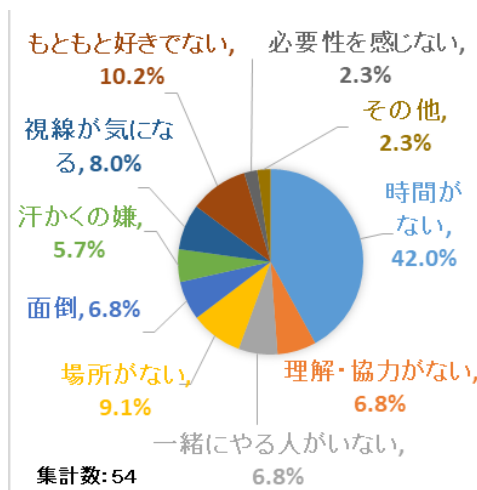


【事後調査】

また、運動やスポーツができない、やらない理由についての設問では、「時間がない」42.0%が最も多く、「もともと好きでない」10.2%、「場所がない」9.1%、「視線が気になる」8.0%と続いている。仕事や育児に追われてスポーツに費やす時間を取りにくいと思っている、「スポーツ」というものに対して苦手意識や取り組みことに対してハードル

を感じている、スポーツが美容や健康に繋がるという意識が低い、外でスポーツをすることに対して周りの目が気になってしまうという仮説が現実であることが明らかになった。

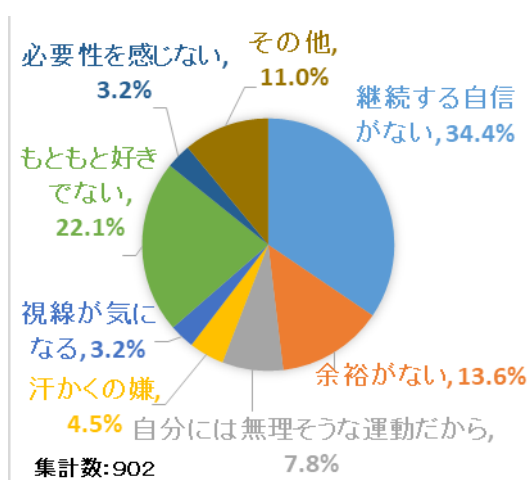
図表 58 運動やスポーツができない、やらない理由



【事後調査】

加えて、「自宅で気軽にできるカラダの動かし方」についての動画を配信し、動画視聴後の生活の中でのスポーツに対する意識が高まらなかった理由についても上記の結果と同様に、「継続する自信がない」34.4%、「もともと好きではない」22.1%、「余裕がない」13.6%と続いている。

図表 59 動画視聴後、生活の中でのスポーツに対する意識が高まらなかった理由



【事後調査】

6. 本事業から得られた波及効果

本事業では、商業施設においてスポーツイベントを開催し、そのイベントに参加した子ども達を対象に調査を行った。お笑い芸人の情報発信力やスポーツの楽しさを伝えるコミュニケーション力により効果があったと考えられるが、一方で、参加応募する子ども達もともと運動やスポーツが得意である参加者が多く、一般的な子供たちの調査としては少し偏りがあることが懸念された。そのため、同じ条件（お笑い芸人によるスポーツイベント）で学校での実施を行い、アンケート調査（事後及び1か月後）を行った。

名称 ニュースポーツ体験会

開催日時 令和2年12月5日（土）

開催場所 和歌山県岩出市の中学校

内容 ディスク的入れ、カローリング、キンボールバレーボールの体験

参加者 中学校に在籍する中学生（79名）

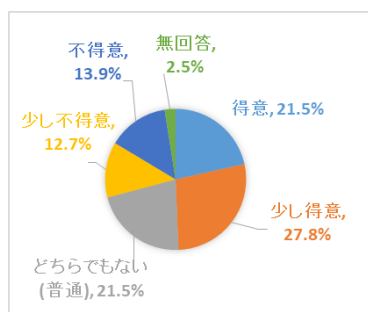
中学校におけるイベントの実施及びアンケート調査の結果、先ず大きな成果は追跡調査の確実性である。商業施設における参加者募集でのアンケート調査の場合、事後のアンケート調査は全員に実施することは可能であるが、1か月後の追跡調査の難しさがある。今回の場合も全イオンモールでのイベントへの児童の参加者は75名であったが、1か月後の追跡アンケート回答者数は23名にとどまった。しかしながら、学校での実施の場合、全員の追跡調査が可能であり、今回も79名全員の事後調査、追跡調査ができています。今後、学校現場との連携を行い、学校での実施を検討していくことが望ましい。

また、本事業では小学生を対象としてきているが、今回中学校での実施では、「運動、スポーツへの興味はどんなことが影響しているか」など、小学生ではなかなか難しいであろう調査も行うことが出来ている。また、「どんなスポーツが向いているか判定してくれるイベントに参加したいか」という設問に対して、「今でもぜひ参加したい」22.1%、「今でも少し参加したい」27.9%という回答が得られている。発達段階を考えると、小学生の意識調査の難しさがあることも含め、対象を小学生だけでなく中学生に広げることも必要であると考えられる。

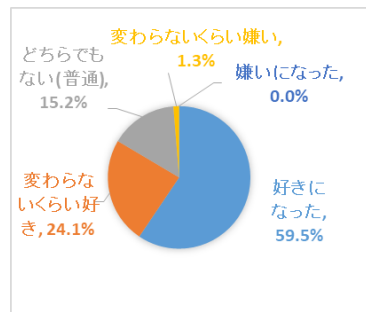
アンケート内容については、運動やスポーツが得意かという設問では、偏りのない結果になっており、対象としては理想的であると考えられる。その対象者で参加して運動やスポーツを好きになったと回答した生徒が59.5%という結果は、重要であろう。そのほか主なアンケート結果は以下の通りである。

事後アンケートより【すべて集計数は79名】

図表 60 運動,スポーツが得意か

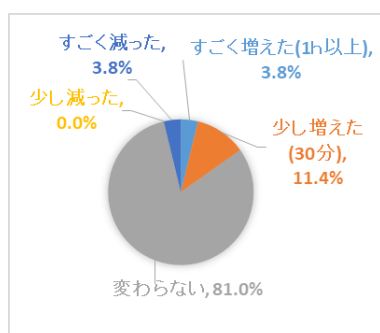


図表 61 参加して運動,スポーツが好きになったか

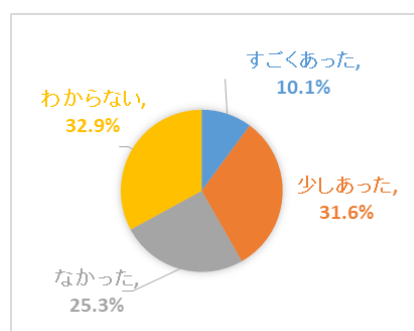


1か月後アンケートより【すべて集計数は79名】

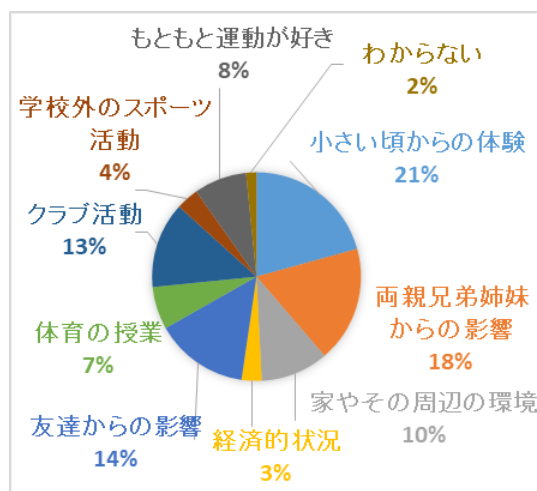
図表 62 運動,スポーツ時間増えたか



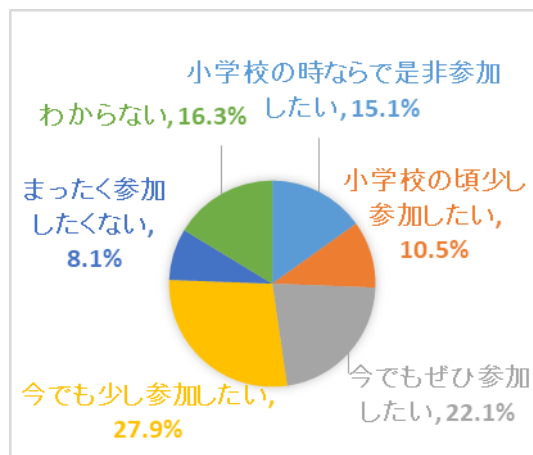
図表 63 意識の変化はあったか



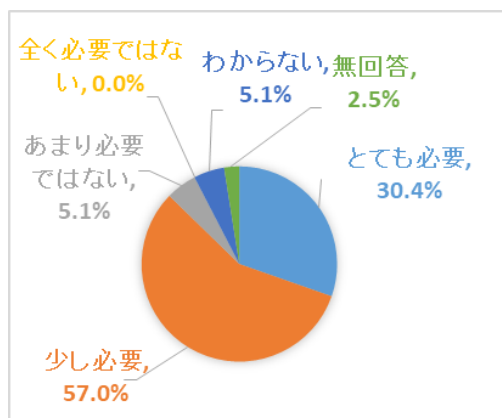
図表 64 運動,スポーツへの興味はどんなことが影響しているか



図表 65 どんなスポーツが向いているか判定してくれるイベントに参加したいか



図表 66 これからの生活でスポーツは必要か



7. 今後の事業展開予定

(1) 事業継続や横展開に向けたポイント、課題

事業継続に際して必要な要素は主に次の点であると考えられる。

- ① 人員確保（スポーツ指導者、スポーツファシリテーター）
- ② 会場の確保（スポーツを実施する場所）
- ③ 財源確保（スポンサー費用、自治体予算）

今回、大阪市スポーツ推進委員協議会との連携等の、自治体とのコラボレーションを通して感じたことは、コロナウイルスの影響もあり、イベントの回数が制限されていた。普段だったらもう少し実施しているという声もありながら、少ない回数での実施となった。

内容としては、指導をするというよりもスポーツをできる場所を提供し、自由にスポーツをしてもらった。創意工夫が少なく、私どもが入る際は講師やアスリートの派遣により、実りあるプログラムを実践出来た。好きな人は来るが、苦手な人は参加しづらいイベントとなっており、弊社が連携することで、苦手意識を持っている人が、芸人を入口として参加されている方もおられた。次年度実施の際は、年間通したスケジュールプランを大阪市と調整し、実施に繋げて行ければと考えている。

(2) 次年度以降の事業継続、横展開の計画

- ・ 教育委員会及び小学校、更には地方自治体との連携作りが理想的なスキームであると感じた。
- ・ 実証実験を行ううえで、1 ヶ月後アンケートが必須となります。私どもはイベントではお会いできても、以降お会いすることもできず、電話をしても出てもらえない、メールも返ってこないという方が多発した。イベント終了後直ぐのアンケートに関しては、書き終えるまで帰さないという方法を取っていたので、取得率 100%でしたが、1 ヶ月後アンケート取得の難しさを感じた。
- ・ 今回実施した、地方自治体と連携したスポーツ推進委員との取組みは継続的に行っていくべきだと感じた。コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、実施するの可否が分からず、イベント実施出来る場の紹介も後手になってしまった感は否めないが、小学校との取組み・検証を行いながら、その小学校に属する地方自治体とも連携し、小学校周辺でスポーツが出来る場の紹介ができるようになれば、街ごとの「スポーツ Town」を作っていくうえで、全国展開も出来る企画ではと感じます。
- ・ コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、リアルでのイベントは大打撃を受けました。次年度以降も状況は大きく変わらないのではと思われますので、オンラインで

の取組みをしっかりと盛り込み、展開したく考えている。

- ・ 次年度以降は小学校と連携した取組みとすることで、より実証の精度を高めたく考えております。不特定多数の中からの選定では無く、運動得意な子もいれば苦手な子もいる、そういった環境での実施を目指します。「知る→する→見る」のフローは変えず、自身の能力を知る環境を作り、様々なスポーツを体験できる場を構築する。生でのプロスポーツ観戦に限らず、体育館をお借りしてのパブリックビューイング等も検討し、学校内で完結できるプログラムを推進する予定です。

(3) 今後の事業展開に向けて期待される sport in Life プロジェクトにおける取組

- ・ 上記記載したように、教育委員会及び小学校、更には地方自治体との連携を視野に入れて次年度以降検討したく考えております。そういった際に、事務局に相談すれば、@@市が興味を示してくれている、@@小学校がこういった事に前向きなど、情報提供頂き、仲介頂けると非常に助かります。
- ・ また、私どもも今事業に限らず様々なスポーツイベントを行おうとしております。そういった際に、加盟されている各団体様とは相互で連携を取りたく考えております。お互いの強みを活かすことで、より大きな事業を成し得られると感じます。加盟団体同士のマッチングの場というのも検討頂けると、より良いイベント構築に繋がり、スポーツ実施率の向上にも役立てるのではと感じます。

8. 終わりに

まず一番に言えることは、コロナウイルス感染症の影響である。今後もしばらくこの状況が続くことが予想されることから、人を集めてのイベント実施は難しい。学校での実施やオンラインでの企画など様々な形態を検討していく必要があると考える。

また、対象も小学生だけでなく中学生まで広げ、子供たちの様々なニーズに対応していくことも必要であると考えます。

1. 全イオンモールイベントアンケート調査(子供)

53

《うら面》

Q-9 みなさんにお聞きします。どういった「場面」であれば、スポーツをしたくなりますか。
 (例：しせつが近くにあれば、いっしょにやる友達がいれば、こんな体験があれば、など) 【自由にお書きください】

Q-10 みなさんに、しょうらいの「夢」や、なりたい「しよくぎょう」についてお聞きします。
 今、しょうらいの「夢」や、なりたい「しよくぎょう」はありますか。

- ① 具体的にいえる(はっきりとこれですといえる)「ゆめ」や「しよくぎょう」がある
- ② これと決まっていないが、なんとなく思っている「ゆめ」や「しよくぎょう」がいくつかある
- ③ 今はしょうらいの「ゆめ」やなりたい「しよくぎょう」はない
- ④ あまりしょうらいのことは考えたことがない
- ⑤ わからない

Q-11 しょうらいの「ゆめ」やなりたい「しよくぎょう」があると答えた人(Q-10で、①か②と回答した方)にお聞きします。
 その「ゆめ」や「しよくぎょう」は何ですか。いくつも思いつくものを答えてください。【自由にお書きください】

Q-12 みなさんにお聞きします。スポーツ選手になりたいと思ったことはありますか。それはどんなスポーツですか。
 その「りゆう」も教えてください。【自由にお書きください】

Q-13 得意なスポーツ・苦手なスポーツを教えてください。

- ① どのスポーツも得意
- ② 得意なスポーツがある(きょうぎ名:)
- ③ 苦手なスポーツがある(きょうぎ名:)
- ④ どのスポーツも苦手

Q-14 体育の時間や、休み時間に、運動やスポーツをしていて、次のようなことを感じたことはありますか？
 【感じたことすべて回答してください】

- ① 体育の時間、「足がおそい」と感じる
- ② 鬼ごっこをしていて、だれも「つかまえられる」
- ③ ドッジボールでなかなか「当てられない」
- ④ ドッジボールをしていて「すぐに当てられる」
- ⑤ 野球をしているとき、ボールをうまく「打ちかえせない」
- ⑥ 野球をしているとき、ボールをうまく「キャッチできない」「後ろにボールをそらしたりする」
- ⑦ サッカーをしているとき「シュートがなかなか入らない」
- ⑧ サッカーをしているとき「ボールをすぐに取られてしまう」
- ⑨ 「マット運動・とび箱・鉄ぼう」がうまくできない
- ⑩ 「なわとび」がうまくとべない(2重とびができない)
- ⑪ 他、クラスメイトより、おとっていると感じる部分があれば、お書きください

()

Q-15 休み時間はどのように過ごしますか？

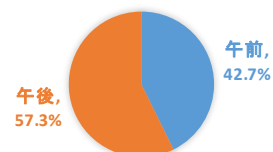
- ① 外でかならず遊ぶ
- ② たまに外で遊ぶ
- ③ 教室や、ろうかなど、室内で遊ぶ
- ④ 教室で何もしない
- ⑤ その他 ()

Q-16 Q-15で①もしくは②とお答えになった方にお聞きします。外でどういったことをして遊びますか？
 【自由にお書きください】

ご協力ありがとうございました。

Q1 午前、午後

選択肢	人数(人)	割合
午前	32	42.7%
午後	43	57.3%
計	75	100.0%



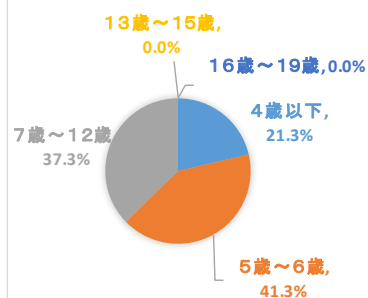
Q2 性別

選択肢	人数(人)	割合
男性	36	48.0%
女性	39	52.0%
答えたくない	0	0.0%
計	75	100.0%



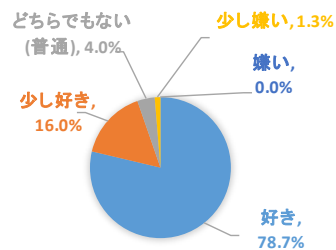
Q2 年齢

選択肢	人数(人)	割合
4歳以下	16	21.3%
5歳～6歳	31	41.3%
7歳～12歳	28	37.3%
13歳～15歳	0	0.0%
16歳～19歳	0	0.0%
答えたくない	0	0.0%
計	75	99.9%



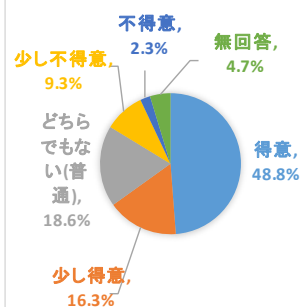
Q3(1) 運動、スポーツが好きでしたか

選択肢	人数(人)	割合
好き	59	78.7%
少し好き	12	16.0%
どちらでもない(普通)	3	4.0%
少し嫌い	1	1.3%
嫌い	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	75	100.0%



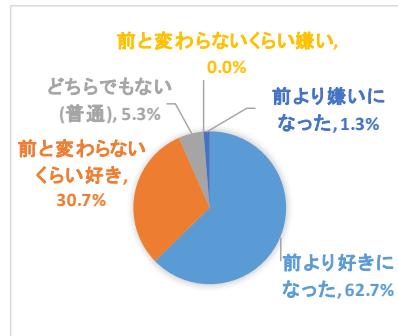
Q3(2) 運動、スポーツが得意ですか

選択肢	人数(人)	割合
得意	21	48.8%
少し得意	7	16.3%
どちらでもない(普通)	8	18.6%
少し不得意	4	9.3%
不得意	1	2.3%
無回答	2	4.7%
計	43	100.0%



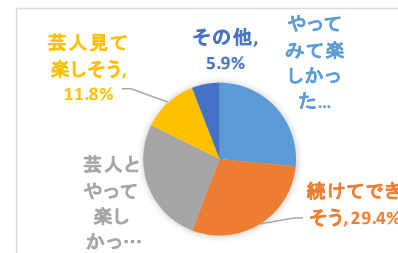
Q4 運動、スポーツが好きになったか

選択肢	人数(人)	割合
前より好きになった	47	62.7%
前と変わらないくらい好き	23	30.7%
どちらでもない(普通)	4	5.3%
前と変わらないくらい嫌い	0	0.0%
前より嫌いになった	1	1.3%
無回答	0	0.0%
計	75	100.0%



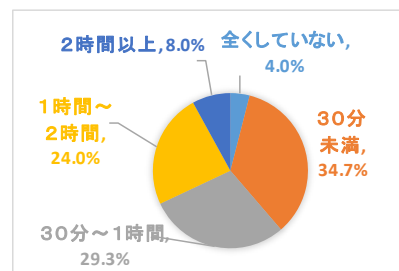
Q5 その理由

選択肢	人数(人)	割合
やってみて楽しかった	27	26.5%
続けてできそう	30	29.4%
芸人とやって楽しかった	27	26.5%
芸人見て楽しそう	12	11.8%
その他	6	5.9%
計	102	100.1%



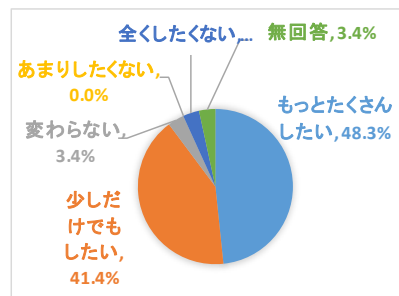
Q6 参加前、どれくらい運動、スポーツをやっていたか

選択肢	人数(人)	割合
全くしていない	3	4.0%
30分未満	26	34.7%
30分～1時間	22	29.3%
1時間～2時間	18	24.0%
2時間以上	6	8.0%
計	75	100.0%



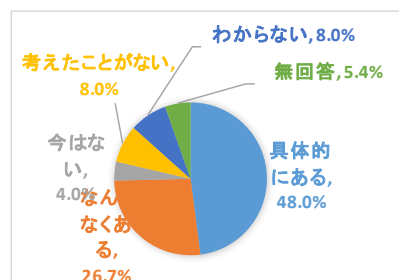
Q7 参加後、これからしたいか(Q6①②)

選択肢	人数(人)	割合
もっとたくさんしたい	14	48.3%
少しだけでもしたい	12	41.4%
変わらない	1	3.4%
あまりしたくない	0	0.0%
全くしたくない	1	3.4%
無回答	1	3.4%
計	29	99.9%



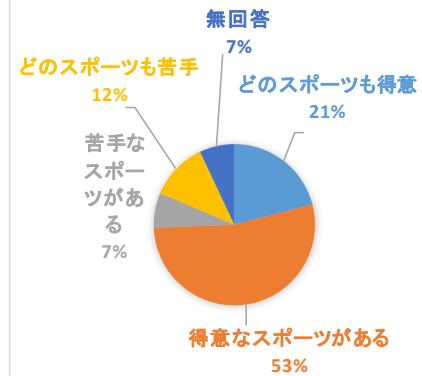
Q10 将来の夢、職業

選択肢	人数(人)	割合
具体的にある	36	48.0%
なんとなくある	20	26.7%
今はない	3	4.0%
考えたことがない	6	8.0%
わからない	6	8.0%
無回答	4	5.4%
計	75	100.1%



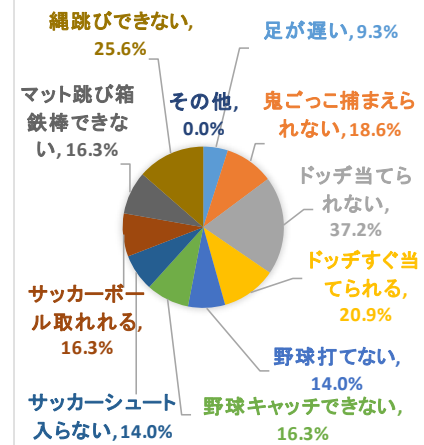
Q13 得意なスポーツ、苦手なスポーツ

選択肢	人数(人)	割合
どのスポーツも得意	9	20.9%
得意なスポーツがある	23	53.5%
苦手なスポーツがある	3	7.0%
どのスポーツも苦手	5	11.6%
無回答	3	7.0%
計	43	100.0%



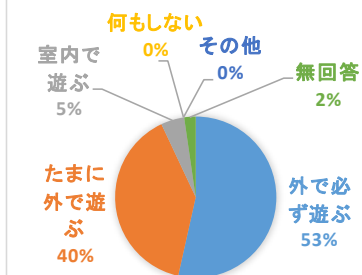
Q14 運動、スポーツをやっていると感じること

選択肢	人数(人)	割合
足が遅い	4	9.3%
鬼ごっこ捕まえられる	8	18.6%
ドッチ当てられない	16	37.2%
ドッチすぐ当てられる	9	20.9%
野球打てない	6	14.0%
野球キャッチできない	7	16.3%
サッカーシュート入らない	6	14.0%
サッカーボール取れる	7	16.3%
マット跳び箱鉄棒できない	7	16.3%
縄跳びできない	11	25.6%
その他	0	0.0%
計	43	188.5%



Q15 休み時間はどう過ごすか

選択肢	人数(人)	割合
外で必ず遊ぶ	23	53.5%
たまに外で遊ぶ	17	39.5%
室内で遊ぶ	2	4.7%
何もしない	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	2.3%
計	43	100.0%



【自由記述】

Q8 今後どんなスポーツをやりたいか

体操	卓球・サッカー・野球
なし	スケボー、野球
テニス・卓球	サッカー、フットサル、体操
サッカー	体操、スイミング
走る	バスケットボール
サッカー	ホッケー、アイスホッケー
バスケットボール	サッカー
バスケットボール	卓球
バスケットボール	卓球
野球	野球、テニス、卓球
野球・サッカー	野球
ドッジボール	サッカー
ダンス・空手	少林寺拳法
うんてい	テニス
いろんなスポーツに挑戦したい	陸上
シャトルラン	ゴルフ、スケボー
テニス	水泳
バスケットボール	テニス、バスケ
空手	バスケ、サッカー
マウンテンバイク・テニス	バスケ、剣道
スイミング	水泳をもっと頑張る
うんてい	ボールを使った競技
野球・テニス	バスケ
テニス	テニス、野球、バドミントン
色々やってみたい	バスケ、水泳
色々やってみたい	ゴルフ
体操	水泳
テニス・スキー・バスケットボール	バレーボール
サッカー	サッカー、バレーボール
サッカー・野球	柔道、テニス、自転車
サッカー	走りたい

Q9 どんな条件や状況があればスポーツができればと思いますか。

一緒にする友達	公園が近くにあったら
一緒にする友達がいたら	公園や室内などの場所があれば
一緒にやる友達がいれば	運動場
一緒にやる友達がいれば	サッカーができる場所が近くになれば
一緒にやる友達がいれば	施設が近くにある
一緒にやる友達がいれば	施設が近くであれば
一緒にやる友達がいれば	施設が近くであれば
一緒にやる友達がいれば	スポーツのできる広場
一緒にやる友達がいれば	する場所があれば
一緒にやる友達がいれば	卓球場があれば
一緒にやれる人・教えてくれる人がいれば	近くにあればやりたい
誰かと一緒にできたら	近くにグラウンドがあったらいいと思う
弟(1才)と一緒に遊べるスポーツ	近くにスポーツができる場所があればいい
姉妹と一緒にならする	近くにやるところがあったらいい
友達がいたから	広いスペース
友達とやりたい	広場
遊びに行ったとき	毎日練習できるところがあれば
運動が楽しいから	近くに施設があったり、一緒にやる友達がいれば
健康	色々なスポーツを体験できる場所
動きたくなった時	近くに習える場所があればいい
スポーツをしたいと思った時	教えてくれるイベントがあったら
遊びながらできるスポーツ	教えてくれる人がいる、する環境がある
スポーツを見たとき	こんな体験会があれば
楽しかったらしたい	マラソン大会があれば参加する
みんなを見ていたらしたい	習い事であれば

Q12 スポーツ選手になりたいと思ったことはありますか。それはどんなスポーツですか。その理由も

水泳 サッカーをしていて楽しいから 勝ちたいから 野球が好きだから サッカーが面白いから カッコいいから サッカー ドッジボール 空手:好きだから 水泳:習っているから 陸上選手:楽しそうだから バトミントン:バトミントンを体験して楽しかったから スイミング:汗が流れて気持ちいいから スイミング:スイミングでオリンピックに出たいから サッカー スイミング:スイミングが好きだから テニス:習っているから テニス選手 サッカー:サッカーを習っているから サッカー	自転車、弱虫ペダルを見たから(アニメ) 陸上、楽しそうだから サッカー、ボールを蹴ったりできるから ウサイン・ボルト 卓球選手、楽しそうだから 野球です。理由は、野球が好きだから。 思ったことがない 野球選手のスイングがしたいから、投げたいから 陸上:早くなりたいから 鉄棒:鉄棒が上手いから プロサーファー、面白い、技がかっこいい ある。かっこいいから ゴルフ 陸上 プロバスケット選手、ダンクを決めたいから 野球選手になりたい、お金がいっぱいもらえるから 陸上 野球 バスケ、すてきだから バレーボールをならっているから 楽しいから
--	---

Q11 将来の夢、なりたい職業

大工 デザイナー・ケーキ屋・YouTuber サッカー選手 プロ野球選手 警察官 消防士 宇宙飛行士・動物園の飼育員・サッカー選手 薬剤師 警察官 美容師 警察官 バレエの先生 パティシエ 画家・空手選手 動物と関わる仕事・お笑い芸人 学校の先生・CA 絵かきさん クレープ屋さん・保育士 デザイナー デザイナー スイミングの先生 スポーツ選手・運転手 警察官 ユウチュウバー、陸上選手 公務員 プロゲーマー	スポーツ選手・美容師 エンジニア・お笑い芸人 服屋さん・店員さん テニスプレイヤー・警察官 サッカー選手 パン屋さん バレーボール選手 伝説の人になりたい 体操選手 ケーキ屋さん 新幹線の運転手 サッカー、野球、ラグビー 消防士 野球選手 歌手 英語の先生、水泳の先生 美容師 市役所 niziu,薬剤師 陸上選手 飼育員、管制官 絵描き 助産師、保育園の先生 調教師 パリスト ケーキ屋さん
--	--

1

[成人用]
20201122

Q-1 あなたが参加した体験会はどれですか。

- Q-2 あなたの性別・年齢を教えてください。

- Q-3 運動やスポーツをすることに対する「好き・嫌い」「得意・不得意」を教えてください。

- Q-4 学生時代を含め、過去の運動・スポーツ歴についてお聞きます。

- 【①とお答えになった方にお聞きします。】

●いつ頃やっておられましたか。

●何をやっておられましたか。

●現在も続けておられますか。また、辞められた方は、いつ頃に辞められましたか。
辞められた理由も教えてください。

- Q-5 この体験会に参加して運動やスポーツすることが好きになりましたか。

- Q-6 Q-5で、①か②と答えた人にお聞きします。その理由を教えてください。【複数回答可】

- ↳ 裏面に続く

《裏面》

Q-7 この体験会に参加する前の運動・スポーツの実施状況について教えてください。

- ① 週に1回以上の頻度で
- ② 定期的に実施
- ② 週に1回未満の頻度で
- ③ 不定期ではあるが、年に数回
- ④ 全く実施していない

Q-8 現在、定期的に運動・スポーツを実施していない方（Q-7で③～⑤と回答した方）にお伺いします。
この体験会に参加した後の運動・スポーツへの意欲の変化について教えてください。

- ① 週1日以上、実施したいという意欲が芽生えた
- ② 週1日までは難しくても、定期的に実施したいという意欲が芽生えた。
- ③ 定期的には難しいが、機会があれば実施したいという意欲が芽生えた。
- ④ 運動・スポーツを実施したいという意欲は芽生えなかった（機会があっても実施したいとは思わない）
- ⑤ その他（ ）

Q-9 みなさんにお聞きます。運動・スポーツができない、やらない理由は何だと思われますか。【複数回答可】

- ① 時間がない（仕事、家事、育児などで）
- ② 理解や協力を得られない（仕事、家事、育児などで）
- ③ 一緒にやる人がいない（一人ではできない、近くに友人がいないなど）
- ④ 場所がない（近くの施設など）
- ⑤ 着替えたりするのが面倒だ
- ⑥ 汗をかくのが嫌（メイクが取れるなど）
- ⑦ 他人からの視線が気になる（体型、スポーツウエアなど）
- ⑧ もともと運動するのが好きではない（苦手、興味が無いなど）
- ⑨ 特に運動することの必要性を感じない
- ⑩ その他（ ）

Q-10 みなさんにお聞きます。今後どんなスポーツをやりたいですか。【自由記述】

Q-11 みなさんにお聞きます。どんな条件や状況があればスポーツができると思えますか。【自由記述】
（例：施設が近くにあれば、一緒にやる友達がいれば、こんな体験会があれば、など）

Q-12 明日以降、自分自身スポーツをしようと思われますか？

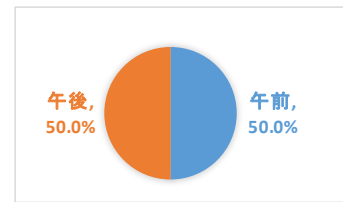
- ① しようと思う
- ② しない
- ③ その他（ ）

Q-13 Q-12で①と回答された方にお聞きます。どういった事をされますか？【自由記述】
（例：普段よりも多く歩こうと思う、自宅ですらだらしている時間を活用し、簡単な運動をしようと思う、など）

ご協力ありがとうございました。

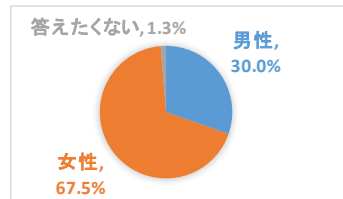
Q1 午前、午後

選択肢	人数(人)	割合
午前	40	50.0%
午後	40	50.0%
計	80	100.0%



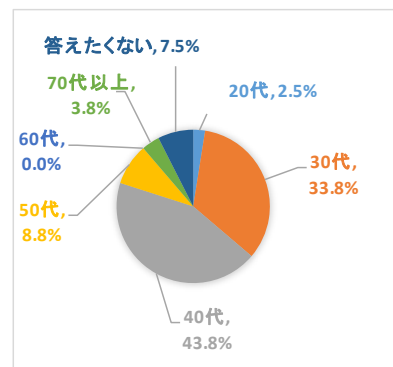
Q2 性別

選択肢	人数(人)	割合
男性	24	30.0%
女性	54	67.5%
答えたくない	1	1.3%
計	79	98.8%



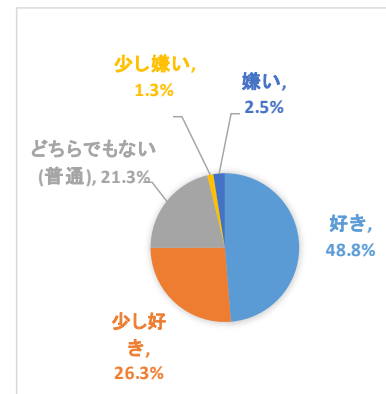
Q2 年齢

選択肢	人数(人)	割合
20代	2	2.5%
30代	27	33.8%
40代	35	43.8%
50代	7	8.8%
60代	0	0.0%
70代以上	3	3.8%
答えたくない	6	7.5%
計	80	100.2%



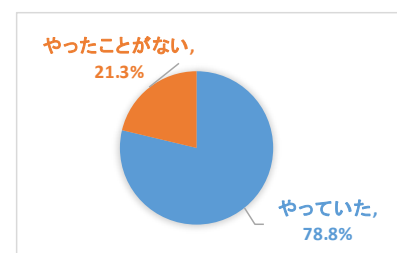
Q3 運動、スポーツが好きでしたか

選択肢	人数(人)	割合
好き	39	48.8%
少し好き	21	26.3%
どちらでもない(普通)	17	21.3%
少し嫌い	1	1.3%
嫌い	2	2.5%
無回答	0	0.0%
計	80	100.2%



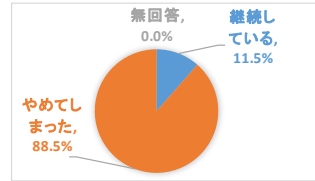
Q4 運動、スポーツ歴

選択肢	人数(人)	割合
やっていた	63	78.8%
やったことがない	17	21.3%
無回答	0	0.0%
計	80	100.1%



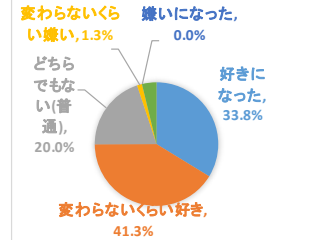
Q4 現在は

選択肢	人数(人)	割合
継続している	7	11.5%
やめてしまった	54	88.5%
無回答	0	0.0%
計	61	100.0%



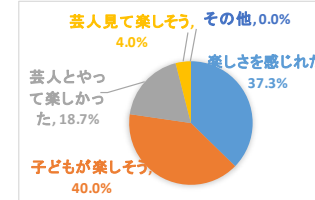
Q5 運動、スポーツが好きになったか

選択肢	人数(人)	割合
好きになった	27	33.8%
変わらないくらい好き	33	41.3%
どちらでもない(普通)	16	20.0%
変わらないくらい嫌い	1	1.3%
嫌いになった	0	0.0%
無回答	3	3.8%
計	80	100.2%



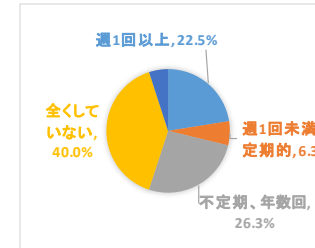
Q6 その理由

選択肢	人数(人)	割合
楽しさを感じれた	28	37.3%
子どもが楽しそう	30	40.0%
芸人やって楽しかった	14	18.7%
芸人見て楽しそう	3	4.0%
その他	0	0.0%
計	75	100.0%



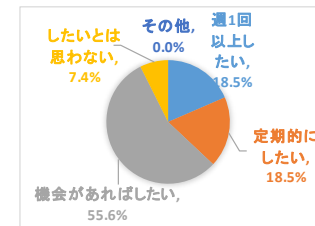
Q7 以前の運動、スポーツ実施状況

選択肢	人数(人)	割合
週1回以上	18	22.5%
週1回未満、定期的	5	6.3%
不定期、年数回	21	26.3%
全くしていない	32	40.0%
無回答	4	5.0%
計	80	100.1%



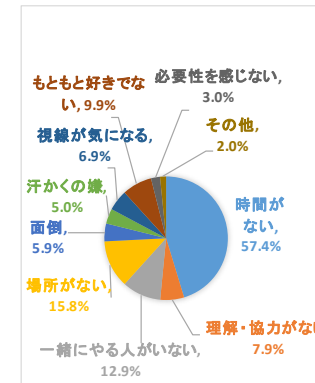
Q8 運動、スポーツへの意欲の変化

選択肢	人数(人)	割合
週1回以上したい	10	18.5%
定期的にしたい	10	18.5%
機会があればしたい	30	55.6%
したいとは思わない	4	7.4%
その他	0	0.0%
計	54	100.0%



Q9 できない、やらない理由

選択肢	人数(人)	割合
時間がない	58	57.4%
理解・協力が無い	8	7.9%
一緒にやる人がいない	13	12.9%
場所がない	16	15.8%
面倒	6	5.9%
汗かくの嫌	5	5.0%
視線が気になる	7	6.9%
もともと好きでない	10	9.9%
必要性を感じない	3	3.0%
その他	2	2.0%
計	101	99.9%



【自由記述】

Q4 いつごろ、どんなスポーツをやっていたか

高校 剣道	学生時代 バドミントン
高校 バスケット	中～大 陸上競技
小学生～大学生 野球	学校で、いろいろ
小～高 スイミング・テニス	30代、ヨガ、ボルダリング、水泳
大学 合気道	高校、サッカー
10代 陸上	小学、中学、バレーボール
高校 テニス	中高、バドミントン
10代 バレー	小学校、バスケット
高校 テニス	中学、大学、バスケット、ラクロス
小～中 野球	中～大学、社会人、テニス
中学生(7年前) バスケット・ランニング	小学校、水泳
10年前 ジャズダンス	30代、バレーボール
小・中 バレーボール	小中、大人、野球、サッカー
小中学校 野球・サッカー・バドミントン・卓球	中高、陸上
小中高 バスケット	幼稚園から高校、野球、水泳、ソフトボール
小中学校 バスケット・キックベース	小学校、野球
中学 テニス	中学～大学、陸上
中・高 テニス	小、中、成人、ソフト、バドミントン、バスケット、バレー、サーフィン
中・高 バレーボール	十代～現在、バレーボール、ダイビング等
学生 バスケット	高校の時、テニス
小学生 空手	大学まで、野球、サッカー、テニス、マラソン
社会人になって6年間程まで バレーボール	中学、テニス
高校生～30歳まで バレーボール	中学高校、陸上
中・高・大(2年間のみ)・社会人(3年ほど) テニス	高校卒業まで、サッカー、ボート
小・中・高 バスケット	小学校卒業まで、水泳
10代 テニス・陸上	中学校、テニス
40歳以降 スポーツサイクリング	中学～高校、陸上
小学生 バレー	高校
高校時代 陸上	小学校～中学校、バレーボール
小・中 水泳	学生時代、水泳
小・中・高・大 水泳	中学～高校、陸上 バスケット

Q4 いつ頃やめたか、その理由

高校 卒業	社会人になるとき 卒上
高校 ひざのけが	社会人
働きだしたから	子供4人産んだから
部活が終わったため	18歳、特になし
卒業時 就職で大阪に移動になった為	高校入学、演劇部に入ったから
高校生の途中 飽きたため	高校、進学のため、3年前の一年間くらいした
高校 受験	中学校
6年前 妊娠のため	学校卒業
10年前	10年前、仕事で
学校を卒業したから	10歳、友達が辞めたから
中学まで 高校になったから	中学、クラブだったので
卒業後 時間場所がなくなった	3年前、子供の育児が増えたため
中学生まで	しんどかったから
高校まで 勉強のために	大学頃、卒業したので
高校まで	中学頃、卒業(バレー)
高校	18才ごろ、就職したから
30歳 異動	25才頃、特になし
三年間	中学生になり時間が無くなった
結婚時 海外移住するため	中学三年、疲れたから
結婚	高校三年、引退
15年前 仕事家事育児が忙しい	中学生、クラブ活動をやめたから
高校生	社会人、時間の関係
出産後 忙しい	やる機会がない
小学生 特になし	

Q10 どんなスポーツをやってみたいか

テニス テニス 自転車こぐ 球技 子供と一緒に楽しめるスポーツ サッカー・バスケ バレーボール ピラティス・水泳 バドミントン ウォーキングからぼちぼちと初める。 バドミントン・水泳 自転車をたくさん使うようにしてなるべく体を動かす。 水泳 団体スポーツ ジョギング サーフィン・登山・スポーツクライミング ダンス ウェイクサーフィン トライアスロン ピラティス・ヨガ・テニス テニス ボルダリング マリンスポーツ スイミング ウォーキング・ヨガ	ジョギング・ウォーキング 走る・球技 新しい体験ができるスポーツ まだ日本では知られていないスポーツ マラソン ロードバイク エアロバイク サッカー バドミントン 時間と機会があれば ウォーキング 野球 特になし ヨガ 早歩きのウォーキング ソフトボール 山登りとかサイクリング バスケット クライミング 誰でも簡単にできるスポーツ ボルダリング、ラグビー テニス 弓道 ヨガ できる機会があれば(サッカー、野球、ゴルフ)
--	--

Q11 どんな条件や状況であればスポーツができますか

一緒にやる人がいるとよい 子供と一緒に 野球をするための人数確保 時間 ボールが使える場所・施設があれば コロナが落ち着けば、室内スポーツがやりたい 施設があれば 近くにあれば 自由な時間とお金の余裕 場所と時間があれば 気軽に参加できる教室などがあれば子供と一緒に参加してみたい。 気軽に入れる施設があれば 近くで安い施設があれば イベントなどがあれば 時間があれば 施設があれば オンラインレッスン スポーツはどんなところでもできると思う 会社が休める。子供が成長 時間的余裕・友人 お金をかけずにできれば 施設の有無。なので必要としないサイクリングを始めた 無料の体験会があれば	子ずれで参加できるとこ 時間があればやってみたい 時間が確実に取れる 子供と参加できる無料の体験会 施設が近くにあって、料金が安くて、時間が自由に選択できたら。 育児の手が離れて自分の時間ができればよいと思う 時間に余裕があれば 安く利用できる施設 下手でも、丁寧に教えてくれる教室があれば 料金が安いと通いやすいです 毎週月曜の6時から7時までとか決めたらやれるかもと思います。 一緒にできる人 時間、環境、施設があれば 施設やクラブが欲しい 時間と便利さ 子供(1才〜)と一緒にできる状況、 ご飯も食べられるような状況であればできそう 一緒にできる友人 一緒にできる人、情報交換ができるもの やる気の持続・今日のような体験会・モチベーションの上昇 時間があれば 施設・時間があれば
---	---

3. 全イオンモールイベント1か月後(子供)

イオンりんくう泉南 1か月後アンケート (子供用) 【WEB アンケート】

Q-1.1 名前を教えてください。

Q-1.2 せいべつを教えてください。

1. 男子 2. 女子

Q-1.3 年れいを教えてください。

1. 6～7 2. 8～10 3. 11～12

Q-2.1 運動やスポーツをすることに対する「好き・嫌い」を教えてください。

1. 好き 2. 少し好き 3. 普通 4. 少し嫌い 5. 嫌い

Q-2.2 運動やスポーツをすることに対する「得意・不得意」を教えてください。

Q13 明日以降、どんなことをしますか

たくさん歩く 歩く 子供と一緒にマラソンから 普段の生活に運動を取り入れたいと思う ヨガなど あるきを意識する 子供と一緒にできる簡単な 無理せずに気長に続けられる体操や歩くことなど。 車を使わず徒歩か自転車で移動・買物へ行く。 ランニング・筋トレ	普段より多く歩こうと思う 自宅でヨガ 毎日ランニングしているので、今後も続けます。 ジョギング サイクリング ウォーキングとランニングの頻度を増やす。 まずは歩くこと 近くの買い物なら歩いていこうと思う。 リングフィットアドベンチャー
---	---

1. 得意 2. 少し得意 3. どちらでもない 4. 少し不得意 5. 不得意

Q-3 スポーツが好き、得意な人 (Q-2.1 と Q-2.2 で 1、か 2、と答えた人) にお聞きします。スポーツのいいところは何ですか。【自由にお書きください】

Q-4 スポーツが嫌い、不得意な人 (Q-2.1 と Q-2.2 で 4、か 5、と答えた人) にお聞きします。スポーツのいやなところは何ですか。【自由にお書きください】

Q-5 10月24日に参加したイベント(イオンモールりんくう泉南)の後から今日まで、以前より運動やスポーツをする時間はふえましたか。

1. 1時間以上増えた 2. 30分増えた 3. 変わらない
4. 30分減った 5. 1時間以上減った

Q-6 スポーツをする時間がふえた理由、へった理由を教えてください。【自由にお書きください】

Q-7.1 Q-5 で、ふえたと答えた人 (1、か 2、と答えた人) にお聞きします。新しくどういったスポーツを始めましたか。【自由にお書きください】

Q-7.2 Q-5 で、ふえたと答えた人 (1、か 2、と答えた人) にお聞きします。どういった場所でスポーツをすることが多いですか。【自由にお書きください】

Q-8 10月24日に参加した「スポーツ能力測定会」の時に、どんなスポーツが向いていると言われましたか。【自由にお書きください】

Q-9 その向いていると言われたスポーツを、じっさいにやろうと思いますか。

1. はい 2. いいえ 3. わからない

Q-10 10月24日に参加したイベント（イオンモールりんくう泉南）の後から、スポーツに対する気持ちの変化はありましたか。【自由にお書きください】

Q-11 10月24日のイベントに参加されて、しょうらいの「ゆめ」や「目標」に変化はありましたか。【自由にお書きください】

Q-12 11月3日に行われました「オリックス戦観戦ツアー」に参加された人にお聞きします。参加されてスポーツに対する気持ちの変化はありましたか。【自由にお書きください】

Q-13 このイベントに参加されて、スポーツ選手になりたいと思うようになりましたか。

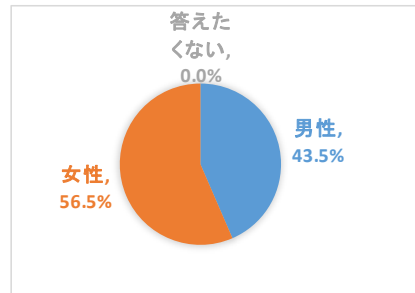
1. なった 2. なかった 3. わからない

Q-14 今後、どのようなスポーツイベントがあれば参加したいですか。【自由にお書きください】

Q-15 この体験会やスポーツ観戦に対する意見や感想を教えてください。【自由にお書きください】

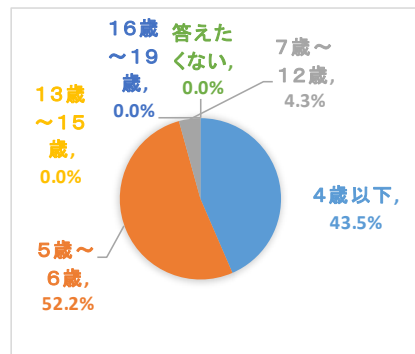
Q2.2 性別

選択肢	人数(人)	割合
男性	10	43.5%
女性	13	56.5%
答えたくない	0	0.0%
計	23	100.0%



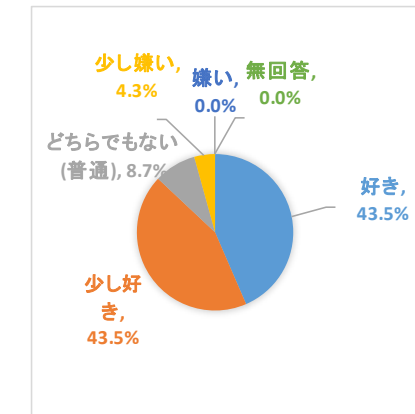
Q1.3 年齢

選択肢	人数(人)	割合
4歳以下	10	43.5%
5歳～6歳	12	52.2%
7歳～12歳	1	4.3%
13歳～15歳	0	0.0%
16歳～19歳	0	0.0%
答えたくない	0	0.0%
計	23	100.0%



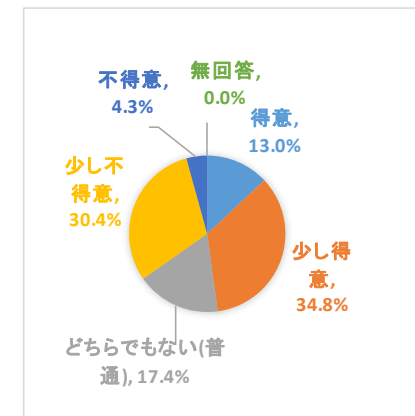
Q2.1 運動、スポーツが好きでしたか

選択肢	人数(人)	割合
好き	10	43.5%
少し好き	10	43.5%
どちらでもない(普通)	2	8.7%
少し嫌い	1	4.3%
嫌い	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	23	100.0%



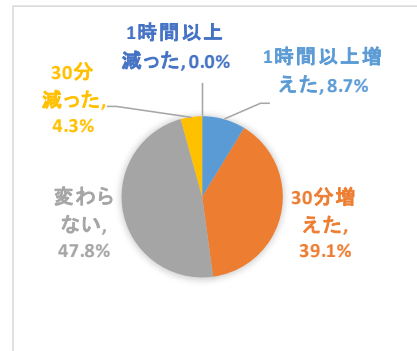
Q2.2 運動、スポーツが得意でしたか

選択肢	人数(人)	割合
得意	3	13.0%
少し得意	8	34.8%
どちらでもない(普通)	4	17.4%
少し不得意	7	30.4%
不得意	1	4.3%
無回答	0	0.0%
計	23	99.9%



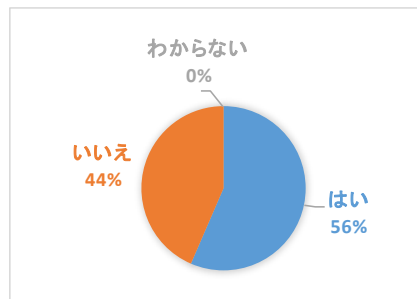
Q5 運動、スポーツが増えたか

選択肢	人数(人)	割合
1時間以上増えた	2	8.7%
30分増えた	9	39.1%
変わらない	11	47.8%
30分減った	1	4.3%
1時間以上減った	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	23	99.9%



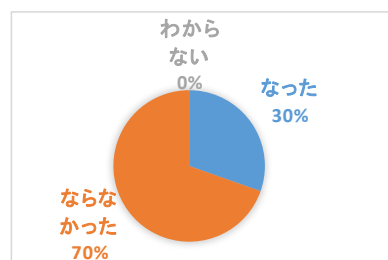
Q9 言われたスポーツをやろうと思うか

選択肢	人数(人)	割合
はい	13	56.5%
いいえ	10	43.5%
わからない	0	0.0%
計	23	100.0%



Q13 スポーツ選手になりたいと思うようになったか

選択肢	人数(人)	割合
なった	7	30.4%
ならなかった	16	69.6%
わからない	0	0.0%
計	23	100.0%



【自由記述】

Q3 スポーツのいいところは何ですか。

はやくはしれる
 上手に出来た時楽しい。
 はしるのがすき
 楽しい
 身体を動かすこと
 ストレス発散
 楽しい
 体を動かすと気持ちいいし楽しいところ
 お友達と協力してスポーツする楽しみを覚えたようです。
 野球を習っているが、上達が楽しみ。[br]身体を動かすことが楽しい。
 楽しい
 走るのがすきだから
 楽しい
 楽しい
 頑張ったらできるようになるところ

Q4 スポーツのいやなところは何ですか

はしるのがなかなかはやくなれない
球技が苦手
思うように体が動かない
運動音痴のような気がします。
うまくできない。つかれる
うまくできなかったりすること！[br]でも、できたらたのしい！
走りが早くないとうまいかないから

Q6 スポーツをする時間がふえた理由、へった理由

こうえんでサッカーをするようになった
受講後の体育では、少し早く走る事ができました。
いつもはしている
寒くなってきて外に出る時間がへった
公園とかで遊ぶ時間がへっているから
公園で遊ぶ機会が増えた
なるべく少しか時間がなくても、外へ出かけるようにしたから
コロナの影響もあり、外で何かをする機会が減りました。
ちょっと素振りなどを増やして、できるだけ毎日やるようにしたから。
寒くなってきたから
練習時間が増えました
習っているサッカーの練習をがんばるようになった
外で友達と遊ぶことが楽しくなった

Q7 新しくどういったスポーツを始めましたか。

リフティングのれんしゅう
ドッチボール
かけっこ
サッカーボールあそび[br]
素振り
新しくスポーツは始めてません
キックベース
特に新しいスポーツは始めていない

Q7 どういった場所でスポーツをすることが多いですか。

こうえん
こうえん
家の前
運動場
こうえん
習い事の際はグラウンド。[br]それ以外は、公園、家の前の道。
体育館での剣道の稽古日が増えた
グラウンド、学校、道端
家の前

Q8 どんなスポーツが向いていると言われましたか。

サッカー
柔道、サッカーのキーパーなど
サッカー
バスケットボール
水泳 テニス 野球
フェンシング
忘れた
フェンシング
サッカー
水泳
忘れました
柔道
バスケ、サッカー
たつきゆう
バランスが大事なスポーツ
テニス。野球。
柔道
柔道
水泳
水泳
野球内野手、テニス、フェンシング、剣道、バドミントン
アメフト
水泳

Q10 スポーツに対する気持ちの変化はありましたか。

走ることへの意識が高まり、大股で、スタートダッシュを心がけるなどを実践できるよう気にかけています。
れんしゅうをがんばりたい
はやくはしれるようになりたい
じぶんにむいてるスポーツがわかったから！
もっと好きになった。
変わってなさそう
特に変わりはない
サッカーを習いたい。と言い出しました。
水泳に積極的になった
水泳がより好きになった。
色んなスポーツをやってみたいと思った
前より楽しくなった
特に変わらなかった

Q11 しょうらいの「ゆめ」や「目標」に変化はありましたか。

そこまでは、ないです
サッカーをがんばる
変化はしてません
走るのが早くなりたい
なし
ないです。
特に変わらないようです。
いま、ダンスがうまくなりたい！
目標自体は変わらないが、より強い気持ちになった。
まだ目標はないです。
水泳選手になるのもよいと思うようになった。
ない
新幹線の運転士になりたいので、変わらなかった
変化がない

Q14 どのようなスポーツイベントがあれば参加したいですか

外や、もう少し広いスポーツ施設などで、早く走るポイントをもっと沢山実践を交えて開催していただきたいです。

サッカー教室

今回のようなお笑いとスポーツのイベント

球技系

体験したことのないスポーツしてみたいです。

ダンスイベント

みんなとたのしくできるスポーツ！[br]あそびみたいなスポーツ

野球、サッカー、テニス、ラグビーなど

色々体験できるスポーツイベントがあったら参加したいです。

トップアスリートによるスポーツ教室[br]

スポーツ選手になりたいか、なりたくないかはよくわからないが、スポーツは楽しいです。

子供が入門しやすいスポーツの体験会

スポーツ能力測定会は、本人がどうしたら正解だったのかがわかっていなかったもので、継続的にやってみてどれだけ伸びているのか確認できたりができたらいいなと思いました。

Q15 この体験会やスポーツ観戦に対する意見や感想

大好きな芸人の方や、先生に盛り上げていただき、楽しく受講できました！
サッカー場で実際に見れたのが楽しくてよかった。がんばろうとおもう
初めてのサッカー観戦になりルールもあまり分かっていなかったけど、プロの
スポーツに触れ合う機会を頂きありがとうございました。他のスポーツ(ラグ
ビー)も観戦したいと思ってました。
どんなのに向いているのかわかり、楽しみながらできて、とても良かったです。
幼児向けの体験会のようなだった。[br]小学生にはつまらなかった。
楽しかったので又いきたいです
げいにんさんがいっしょに、やってくれるのがうれしくてたのしい！
星野さんや芸人さんと楽しく観戦できて、オリックスや野球がますます好きに
なった。星野さんの体験に基づいた解説や気持ちの持ち方などわかりやす
かった。楽しい時間をありがとうございました。
スポーツ施設等で行う本格的なスポーツ教室にしてほしい。オリックス戦観戦
ツアーは、個室を使って星野さんが教室で子供たちの先生役になるような設
定にしないと、星野さんもやりにくかったと思います。
めっちゃ楽しかった
ミサイルマンの西代さんが面白かった[br]和田ちゃんの顔が昔劇場で見かけ
た時より小顔になっていて、びっくりした(母の意見)[br]市川君がテレビで見か
けるよりドライで人は見かけではないと思った。[br]星野さんがいろいろな話を
してくれたのが、勉強になった[br]↑[br]まとめて、コロナ渦で外出するきっか
けのない時に参加させてもらってものすごく楽しかったです。[br]ありがとうございました。
和田ちゃんがいっぱい話しかけてくれたのが嬉しかったようです。[br]おはよう
朝日です土曜日を見て市川さんが出演してるのをびっくりしました。

4. 全イオンモールイベント 1 か月後(成人)

イオンりんくう泉南 1 か月後アンケート (成人用) 【WEB アンケート】

Q-1.1 あなたのお名前を教えてください。

Q-1.2 あなたの性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性

Q-1.3 あなたの年齢を教えてください。

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代

Q-2.1 運動やスポーツをすることに対する「好き・嫌い」を教えてください。

1. 好き 2. 少し好き 3. どちらでもない 4. 少し嫌い 5. 嫌い

Q-2.2 運動やスポーツをすることに対する「得意・不得意」を教えてください。

1. 得意 2. 少し得意 3. どちらでもない 4. 少し不得意 5. 不得意

Q-3 スポーツが好き、得意な人 (Q-2.1 と Q-2.2 で 1、か 2、と答えた人) にお聞きしま

す。スポーツのいいところは何ですか。【自由にお書きください】

Q-4 スポーツが嫌い、不得意な人（Q-2.1 と Q-2.2 で 4、か 5、と答えた人）にお聞きします。スポーツの嫌なところは何ですか。【自由にお書きください】

Q-5 参加されたイベント（10 月 24 日イオンモールりんくう泉南）の前まで、1 日どれくらい運動やスポーツをしていましたか。通勤や買物などで歩いた時間も含めて教えてください。

1. 30 分以内 2. 30～60 3. 60 分以上 4. 全くしていない

Q-6.1 参加されたイベント（10 月 24 日イオンモールりんくう泉南）の後から今日まで、以前より運動やスポーツをする時間は増えましたか。

1. 増えた 2. 変化していない 3. 減った

Q-6.2 参加されたイベント（10 月 24 日イオンモールりんくう泉南）の後から今日まで、どれくらいの頻度で、運動やスポーツをしていますか。

1. 週 1 回以上 2. 週 1 回未満 3. 今後する予定

Q-7.1 Q-6.1 で、1、と回答された方にお聞きします。新しくどういった運動やスポーツを始めましたか。（例：普段よりも多く歩いた、自宅でだらだらしている時間を活用し、簡単な運動をした、等）【自由記述】

Q-7.2 Q-6.1 で、1、と回答された方にお聞きします。それは、イベントに参加してスポーツに対するモチベーションが上がったからですか。

1. はい 2. いいえ

Q-7.3 Q-6.1 で、2、か 3、と回答された方にお聞きします。その理由を教えてください。【自由記述】

Q-8 10 月 24 日イオンモールりんくう泉南の「女性向け！呼吸を知れば体が整うワークショッップ」で学ばれた事は、普段の生活でも実践されていますか。

1. 実践している 2. 実践していない

Q-9.1.1 Q-8 で、1、と回答された方にお聞きします。どのような事を実践されていますか。【複数回答可】

1. 呼吸法 2. 歩き方 3. その他

Q-9.1.2 Q-9.1.1 で、3、その他と回答された方にお聞きします。実践されている内容をお教えてください。

Q-9.1.3 Q-8 で、1、と回答された方にお聞きします。Q-9.1.1 と Q-9.1.2 で回答された事柄をどういった場面で実践されていますか。【複数回答可】

1. テレビを見ているとき 2. 外出時の徒歩移動 3. 普段の食事の際 4. その他

Q-9.1.4 Q-9.1.3 で、4、その他と回答された方にお聞きします。実践されている場面をお教えてください。

Q-9.2 Q-8 で、1、と回答された方にお聞きします。実践されてみて、身体の変化はありましたか。（例：歩き方を気にするようになって、姿勢がよくなったように感じる。よく歩く

ようになって体重の減少につながっている、等)【自由記述】

Q-9.3 Q8 で、2、と回答された方にお聞きします。何が原因で実践が出来ていないと思われますか。(例：仕事や家事が忙しく、身体を動かす時間を取れなかった、等)【自由記述】

Q-10.1 明日以降、スポーツをしようと思われませんか。

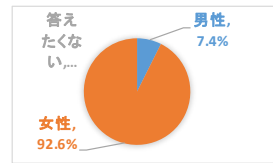
1. しようと思う 2. しない 3. その他

Q-10.2 Q-10.1 で 3、その他と回答された方、その内容をお書きください。【自由記述】

Q-11 Q-10.1 で 1、と回答された方にお聞きします。どういった事をされますか。(例：普段よりも多く歩こうと思う。テレビを見ている際に、簡単な運動をしながら見ようと思う、等)【自由記述】

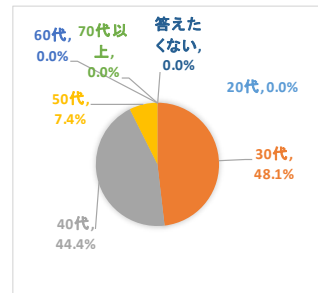
Q1.2 性別

選択肢	人数(人)	割合
男性	2	7.4%
女性	25	92.6%
答えたくない	0	0.0%
計	27	100.0%



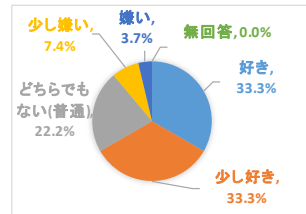
Q1.3 年齢

選択肢	人数(人)	割合
20代	0	0.0%
30代	13	48.1%
40代	12	44.4%
50代	2	7.4%
60代	0	0.0%
70代以上	0	0.0%
答えたくない	0	0.0%
計	27	99.9%



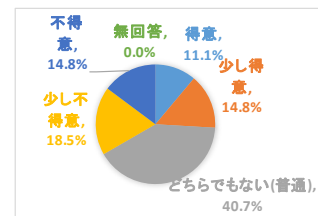
Q2.1 運動、スポーツが好きでしたか

選択肢	人数(人)	割合
好き	9	33.3%
少し好き	9	33.3%
どちらでもない(普通)	6	22.2%
少し嫌い	2	7.4%
嫌い	1	3.7%
無回答	0	0.0%
計	27	99.9%



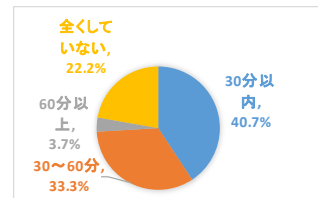
Q2.2 運動、スポーツが得意でしたか

選択肢	人数(人)	割合
得意	3	11.1%
少し得意	4	14.8%
どちらでもない(普通)	11	40.7%
少し不得意	5	18.5%
不得意	4	14.8%
無回答	0	0.0%
計	27	99.9%



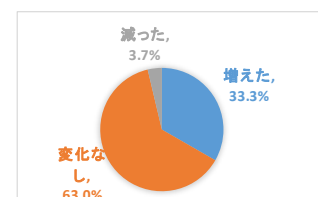
Q5 1日の運動、スポーツ時間

選択肢	人数(人)	割合
30分以内	11	40.7%
30～60分	9	33.3%
60分以上	1	3.7%
全くしていない	6	22.2%
計	27	99.9%



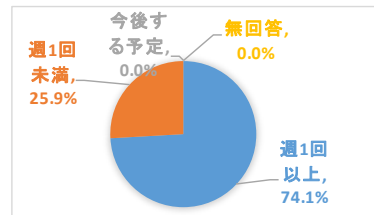
Q6.1 運動、スポーツが増えたか

選択肢	人数(人)	割合
増えた	9	33.3%
変化なし	17	63.0%
減った	1	3.7%
計	27	100.0%



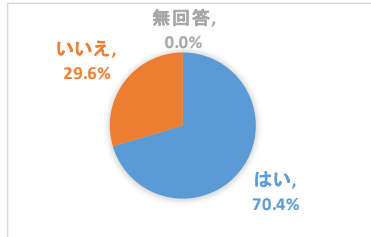
Q6.2 運動、スポーツの頻度

選択肢	人数(人)	割合
週1回以上	20	74.1%
週1回未満	7	25.9%
今後する予定	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	27	100.0%



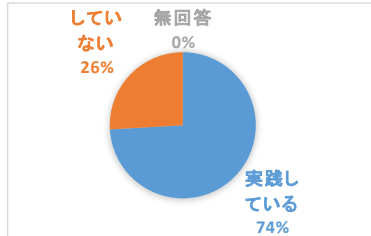
Q7.2 モチベーションは上がったか

選択肢	人数(人)	割合
はい	19	70.4%
いいえ	8	29.6%
無回答	0	0.0%
計	27	100.0%



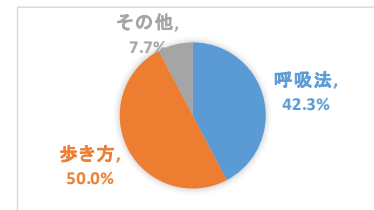
Q8 学んだことを実践しているか

選択肢	人数(人)	割合
実践している	20	74.1%
していない	7	25.9%
無回答	0	0.0%
計	27	100.0%



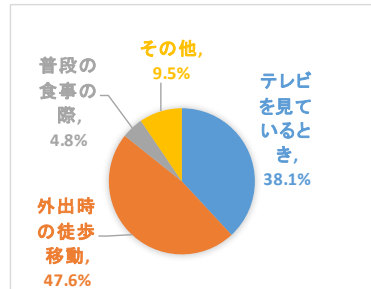
Q9.1.1 何を実践しているか

選択肢	人数(人)	割合
呼吸法	11	42.3%
歩き方	13	50.0%
その他	2	7.7%
計	26	100.0%



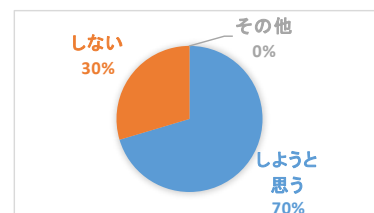
Q9.1.3 どんな場面で実践しているか

選択肢	人数(人)	割合
テレビを見ているとき	8	38.1%
外出時の徒歩移動	10	47.6%
普段の食事の際	1	4.8%
その他	2	9.5%
計	21	100.0%



Q10.1 明日以降、スポーツするか

選択肢	人数(人)	割合
しようと思う	19	70.4%
しない	8	29.6%
その他	0	0.0%
計	27	100.0%



【自由記述】

Q-3 スポーツのいいところは何ですか

体を動かしてる間は、他の嫌なことを考えずにいられる。[br]あと、体を動かすとスッキリする。
リフレッシュできる
体を動かすと気分がスッキリする。
ストレス発散できて楽しい
ストレス発散になる。身体能力を高めることで、基礎代謝が上がり、免疫力も高まると思うので。。
スポーツを通して、人とのコミュニケーションを楽しめるところ
運動後の爽快感や気分転換ができるところ
やり終えた後の爽快感
運動後に身体も気持ちもスッキリします

ママさんバレーをしています、バレーを通して友達ができたこと、週に一度ですが、子どもや家族のことを考えずストレス発散になるところ

練習はしんどいが、体を動かすと気持ちが良い
身体を動かす事で、ストレス発散できる。楽しい。
体を動かせるから
健康に良い、楽しめる[br]
疲れるが、体も心もスッキリするから。

Q-4 スポーツの嫌なところは何ですか

運動神経が良くないので、下手だから。
子供の頃から、走るのが遅いところ。
ボールが苦手
汗をかくところ
良い結果が出ない。[br]努力しても上達しない。
持久力がなくすぐ疲れてしまう。[br]特に球技が苦手です。
年齢と運動能力

Q-7 新しくどういった運動やスポーツを始めましたか

自転車を使わず、歩くようにした。
買い物に行く際に自転車には乗らず歩いて行くようにした。
ヨガ
エレベーターより階段を使うようになった。
ストレッチやヨガ[br]ながらできる運動
駅まで歩いたり、休日子供と公園で遊ぶ機会を増やしました
なるべく歩いて動くようにした。
歩く時に意識をするようになった。
家でテレビを見ながら、ストレッチや腹筋をしている。
軽く散歩するようになった
ストレッチや筋トレを増やした。

Q-7 運動する頻度が少ない理由

日常の忙しさに、スポーツをする余裕が無かったです。

日常に余裕がなさすぎて、自分自身のスポーツ時間がとれない…通勤や移動手段は基本自転車が多いので、脚力は維持していると思います。

運動する時間作るのが難しいから[br]

時間がない

したいこともないし、コロナで限られてくるため

忙しい

忙しすぎて、運動が出来ない。

刺激はありましたが、単に仕事のため時間が確保できない。

今は幼稚園の役員等で、自由な時間がない

仕事が忙しい

呼吸法など必要だと思ったから。

Q-9 何が原因で実践が出来ていないか

学んだことは忘れたのでやってないけど、歩くようにしてる。あと、ストレッチをしてる。

なんとなく、できないまま

忘れてたいた

忘れている

仕事がハードすぎてそこまで回らない。

Q-9 実践して身体の変化

ずっと続けているわけではなく、思い出した時にだけやっているので特に変化はありません。

元々姿勢は、気をつけていたので、大きな変化は無いですが、運動をあまりしないのに、体重増加が無いのは、姿勢のお陰なのだと納得出来たお話を聞けて嬉しかったです。

より深くリラックスできるようになった。

姿勢を意識して歩くようになったことで、姿勢が良くなった気がする

特に変わりはない。

少し姿勢がよくなり、肩こりがましになった

姿勢よくあるくようにしてるが、効果が出てるようにはまだ思えない。

まだ、わからない！

身体が前より少しだけスッキリした気がする。

ヒョコヒョコ歩かない様に心掛けるように歩いたらバランスが良くなりヒザの痛みが良くなった。

Q-10 明日以降、スポーツする内容

ストレッチと歩き

寒くなって、余計に体がかたくなっている気がするので、ストレッチやヨガをまずは自宅で始めます！

わずかな時間でできるストレッチなどを生活のなかに取り入れていきたい近所の買い物なら歩いて行こうと思う。

寝る前に少しストレッチ

歯磨き中にかかとをあげたり下げたりする

少し歩いて遠くのスーパーまで歩く

駅まで歩いていく。[br]家でのストレッチ？

普段より少し多めに歩こうと思います

子供の習い事の間、そこで待たずに[br]歩こうと思う。

5. 全スポーツ観戦(子供)

「笑って！ワクワク！スポーツ観戦」^{わらって！わくわく！スポーツくわんせん}

アンケートのおねがい！

[子供用]
20201103

本日は、『笑って！ワクワク！スポーツ観戦』にごさんかいただき、ありがとうございました。
 本日、ごさんかいただいたみな様に感想など、アンケートにお答えいただきたいと思います。
 本スポーツ観戦は、スポーツ庁委たく事業「Sportin Life 推進プロジェクト（スポーツじっしを
 そがいするか題かい決のための実しよう実けん）」として行っており、アンケートけっかを集計、
 分せきし、ほうこくをいたします。それいがいの日てきには使用いたしませんので、ご協力をよ
 ろしくおねがいたします。

Q-1 あなたの名前・せいべつ・年れいを教えてください。（年れい）

（名前）

（せいべつ） ① 男子
② 女子
③ 答えたくない

（年れい） ① 4さい以下
② 5さい～6さい
③ 7さい～12さい
④ 13さい～15さい
⑤ 16さい～19さい
⑥ 答えたくない

Q-2 前にさんかした体験会（10月24日イオンモールりんくう泉南）の後から今日まで、前より運動やスポーツする時間はふえましたか。

① すごくふえた（1日平きん1時間いじょう）
 ② 少しふえた（1日平きん30分くらい）
 ③ かわらない
 ④ 少しへった（1日平きん30分くらい）
 ⑤ すごくへった（1日平きん1時間いじょう）

Q-3 その理ゆうを教えてください。【自由記じゅつ】

Q-4 今日のスポーツ観戦の感想を聞かせてください。【自由記じゅつ】

👉 うら面につづく

《うら面》

Q-5 このスポーツ観戦で、今後の生活やしょうらいの夢やなりたいしょくぎょうにへん化があると思いますか。

- ① 今後の生活、しょうらいの夢やなりたいしょくぎょうのどちらにもへん化があると思う
- ② 今後の生活にはへん化があると思う
- ③ しょうらいの夢やなりたいしょくぎょうにはへん化があると思う
- ④ へん化はない
- ⑤ わからない

Q-6 その理由も教えてください。【自由きじゅつ】

Q-7 あなたはスポーツがとくいですか。

- ① とくいです
- ② とくいではありません

Q-8 このスポーツ観戦で、今後スポーツをしてみたくになりましたか。

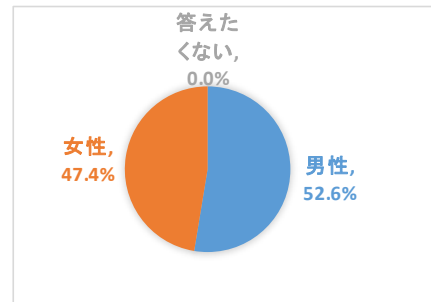
- ① してみたくになった
- ② そうはならなかった

Q-9 その理由も教えてください。【自由きじゅつ】

ご協力ありがとうございました。

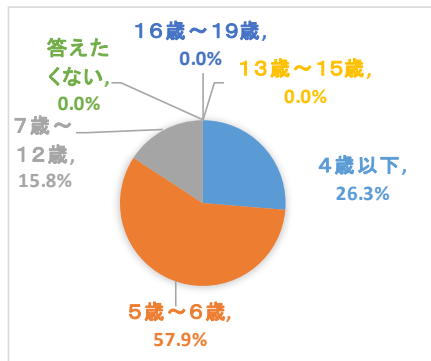
Q1 性別

選択肢	人数(人)	割合
男性	10	52.6%
女性	9	47.4%
答えたくない	0	0.0%
計	19	100.0%



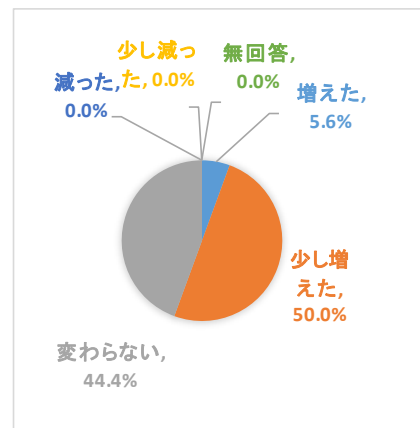
Q1 年齢

選択肢	人数(人)	割合
4歳以下	5	26.3%
5歳～6歳	11	57.9%
7歳～12歳	3	15.8%
13歳～15歳	0	0.0%
16歳～19歳	0	0.0%
答えたくない	0	0.0%
計	19	100.0%



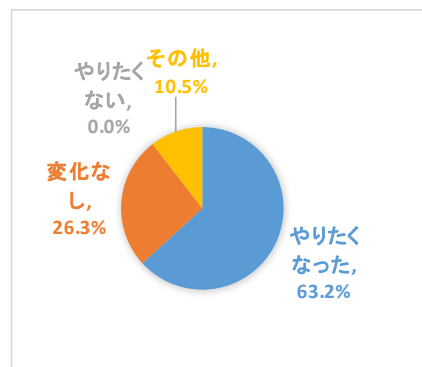
Q2 以前より、運動、スポーツする時間

選択肢	人数(人)	割合
増えた	1	5.6%
少し増えた	9	50.0%
変わらない	8	44.4%
少し減った	0	0.0%
減った	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	18	100.0%



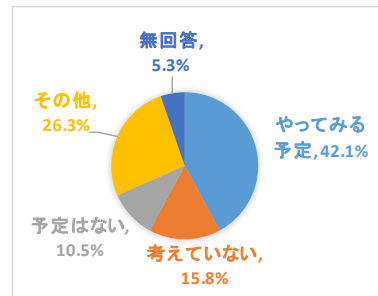
Q5 観戦して、スポーツに対する気持ち

選択肢	人数(人)	割合
やりたくなった	12	63.2%
変化なし	5	26.3%
やりたくない	0	0.0%
その他	2	10.5%
計	19	100.0%



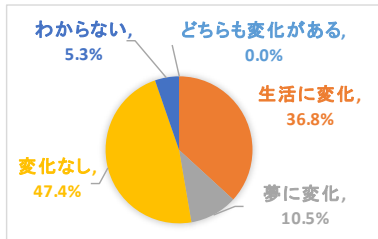
Q7 向いているスポーツを今後やってみたいか

選択肢	人数(人)	割合
やってみる予定	8	42.1%
考えていない	3	15.8%
予定はない	2	10.5%
その他	5	26.3%
無回答	1	5.3%
計	19	100.0%



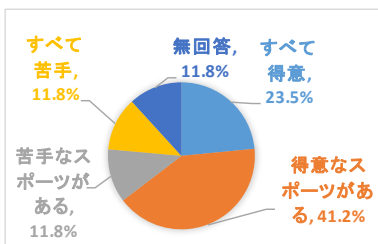
Q8 今後の生活、将来の夢

選択肢	人数(人)	割合
どちらも変化がある	0	0.0%
生活に変化	7	36.8%
夢に変化	2	10.5%
変化なし	9	47.4%
わからない	1	5.3%
計	19	100.0%



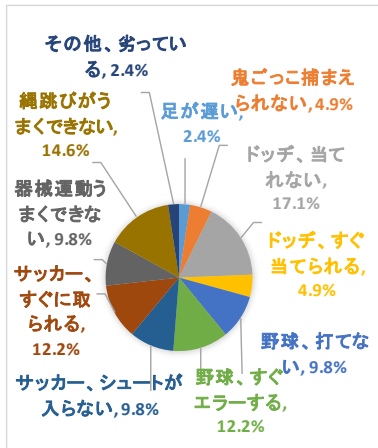
Q10 スポーツの得意、不得意

選択肢	人数(人)	割合
すべて得意	4	23.5%
得意なスポーツがある	7	41.2%
苦手なスポーツがある	2	11.8%
すべて苦手	2	11.8%
無回答	2	11.8%
計	17	100.1%



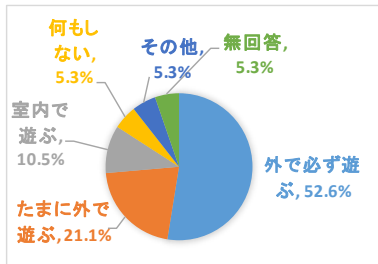
Q11 体育、休み時間に感じたこと

選択肢	人数(人)	割合
足が遅い	1	2.4%
鬼ごっこ捕まえられない	2	4.9%
ドッジ、当てられない	7	17.1%
ドッジ、すぐ当てられる	2	4.9%
野球、打てない	4	9.8%
野球、すぐエラーする	5	12.2%
サッカー、シュートが入らない	4	9.8%
サッカー、すぐに取られる	5	12.2%
器械運動うまくできない	4	9.8%
縄跳びがうまくできない	6	14.6%
その他、劣っている	1	2.4%
計	41	100.1%



Q12 休み時間

選択肢	人数(人)	割合
外で必ず遊ぶ	10	52.6%
たまに外で遊ぶ	4	21.1%
室内で遊ぶ	2	10.5%
何もしない	1	5.3%
その他	1	5.3%
無回答	1	5.3%
計	19	100.1%



【自由記述】

Q3 運動やスポーツする時間が変化した理由

宿題が多い
元々やっている
走るのがすごく好きになり友達と鬼ごっこをしているから
いつもの時間でちょうどいい
ふだんの生活だから
学校で鬼ごっこかする
難しかったから
野球を習っているから
楽しかったから
難しいから
楽しかったから
合ってるスポーツが分かったから
すぐに疲れるから
女と男とスポーツをしてスポーツが身についたから

Q4 スポーツ観戦の感想

楽しかった
こけても痛くないの？
本当の競技場にきて本当のスポーツの大変さを知った
おもしろい
おもしろかった
楽しくないわけではないがすごく面白いとは思わない
たのしくておもしろかったです！
迫力があって楽しかったです！
久しぶりに見たから楽しかった
ホームランが出て面白かった
ホームランが見れてよかった
おにぎりせんべいを食べながら見る野球は最高
楽しかった
面白かった
すごかった
いろいろな選手は凄い

Q6 自分に向いていると判定された競技

サッカー
柔道
陸上
サッカー
サッカー
水泳
フェンシング、球技
球技
わすれた
柔道、バスケットボール
水泳
野球
テニス、野球、フェンシング
水泳
水泳
サッカー、アメリカンフットボール
サッカー
野球

Q9 将来の夢に変化があった理由

頑張る気持ちが湧いた
バレーの先生になりたいから
もっとスポーツをやりたいになったから
スポーツが好きになった
足が速い選手になれるように明日からもっとスポーツを試みる。
スポーツが好きになった
スポーツが好きになった
わからない
プロ野球を見ることでより一層スポーツがすきになった
T岡田がホームランを打っていた
わからない
いつも野球が好きだから
スポーツが好きだから
わからない
凄い選手を見てもっとスポーツが好きになった
バレットみたいに足が速くなりたい

Q13 外でどんな遊びをするか

鬼ごっこ
おにごっこ
ドッチボール
おにごっこ
おにごっこ
鬼ごっこ
バスケットボール、鬼ごっこ、刑ドロ
鬼ごっこ
当てあい
逃走中、ドッチボール
鬼ごっこ
ボール 鬼ごっこ

6. 全スポーツ観戦(成人)

「笑って！ワクワク！スポーツ観戦」

アンケートのお願い！

[成人用]
20201103

本日は、『笑って！ワクワク！スポーツ観戦』にご参加いただき、ありがとうございました。
 本日、ご参加いただいた皆様に感想など、アンケートにお答えいただきたいと思います。本スポーツ観戦は、スポーツ庁委託事業「Sport in Life 推進プロジェクト（スポーツ実施を阻害する課題解決のための実証実験）」として行っており、アンケート結果を集計、分析し、報告をいたします。それ以外の目的には使用いたしませんので、ご協力をよろしくお願いいたします。

Q-1 あなたの氏名・性別・年齢を教えてください。

(氏名) _____

(年齢) ① 20代
② 30代
③ 40代
④ 50代
⑤ 60代
⑥ 70代以上
⑦ 答えたくない

(性別) ① 男性
② 女性
③ 答えたくない

Q-2 前に参加した体験会（10月24日イオンモールりんくう泉南）の後から今日まで、以前より運動やスポーツする時間は増えましたか。

① すごく増えた（1日平均1時間以上）
 ② 少し増えた（1日平均30分くらい）
 ③ 変わらない
 ④ 少し減った（1日平均30分くらい）
 ⑤ すごく減った（1日平均1時間以上）

Q-3 その理由を教えてください。【自由記述】

Q-4 今日のスポーツ観戦の感想を聞かせてください。【自由記述】

👉 裏面に続く

《裏面》

Q-5 このスポーツ観戦で、今後の生活に変化があると思いますか。

- ① 今後の生活に変化があると思う
- ② 変化はない
- ③ わからない

Q-6 その理由も教えてください。【自由記述】

Q-7 あなたはスポーツが得意ですか。

- ① 得意です
- ② 得意ではありません

Q-8 このスポーツ観戦で、今後スポーツをしてみたいくなりましたか。

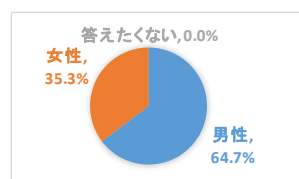
- ① してみたいくなった
- ② そうはならなかった

Q-9 その理由も教えてください。【自由記述】

ご協力ありがとうございました。

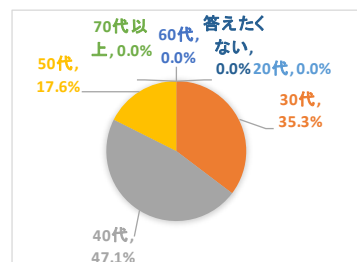
Q1 性別

選択肢	人数(人)	割合
男性	11	64.7%
女性	6	35.3%
答えたくない	0	0.0%
計	17	100.0%



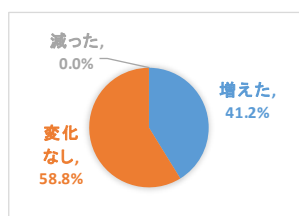
Q1 年齢

選択肢	人数(人)	割合
20代	0	0.0%
30代	6	35.3%
40代	8	47.1%
50代	3	17.6%
60代	0	0.0%
70代以上	0	0.0%
答えたくない	0	0.0%
計	17	100.0%



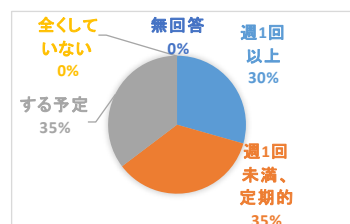
Q2 変化

選択肢	人数(人)	割合
増えた	7	41.2%
変化なし	10	58.8%
減った	0	0.0%
計	17	100.0%



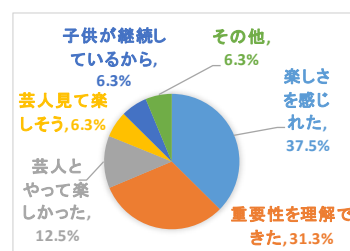
Q2 実施状況

選択肢	人数(人)	割合
週1回以上	5	29.4%
週1回未満、定期的	6	35.3%
する予定	6	35.3%
全くしていない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	17	100.0%



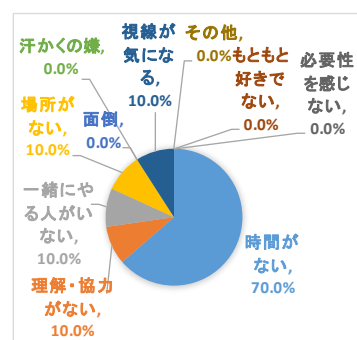
Q3.1 増えた理由

選択肢	人数(人)	割合
楽しさを感じれた	6	37.5%
重要性を理解できた	5	31.3%
芸人とやって楽しかった	2	12.5%
芸人見て楽しそう	1	6.3%
子供が継続しているから	1	6.3%
その他	1	6.3%
計	16	100.2%



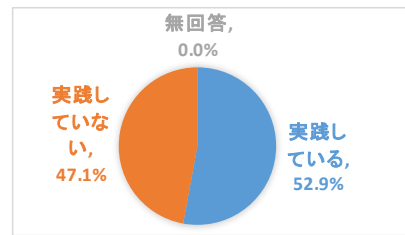
Q3.2 減った理由

選択肢	人数(人)	割合
時間がない	7	70.0%
理解・協力がいない	1	10.0%
一緒にやる人がいない	1	10.0%
場所がない	1	10.0%
面倒	0	0.0%
汗かくの嫌	0	0.0%
視線が気になる	1	10.0%
もともと好きでない	0	0.0%
必要性を感じない	0	0.0%
その他	0	0.0%
計	10	100.0%



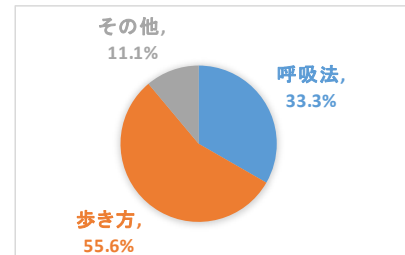
Q4 ワークショップを実践しているか

選択肢	人数(人)	割合
実践している	9	52.9%
実践していない	8	47.1%
無回答	0	0.0%
計	17	100.0%



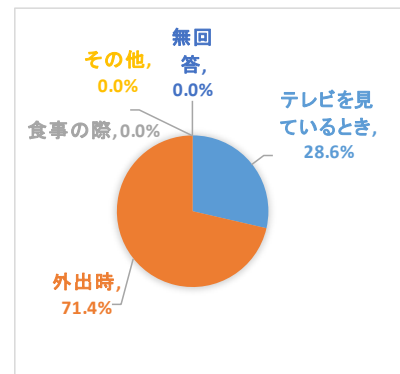
Q5.1 何を実践しているか

選択肢	人数(人)	割合
呼吸法	3	33.3%
歩き方	5	55.6%
その他	1	11.1%
計	9	100.0%



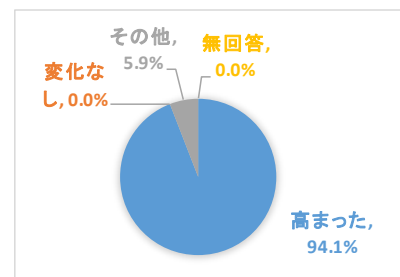
Q5.1 どんな場面で行っているか

選択肢	人数(人)	割合
テレビを見ているとき	2	28.6%
外出時	5	71.4%
食事の際	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	7	100.0%



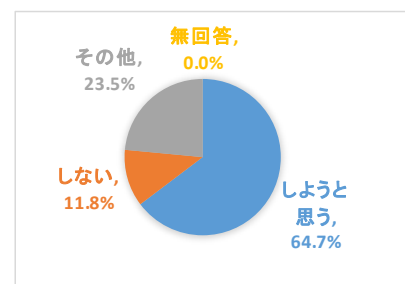
Q6 子供にスポーツをさせたい気持ち

選択肢	人数(人)	割合
高まった	16	94.1%
変化なし	0	0.0%
その他	1	5.9%
無回答	0	0.0%
計	17	100.0%



Q7 明日以降、運動、スポーツしたいか

選択肢	人数(人)	割合
しようと思う	11	64.7%
しない	2	11.8%
その他	4	23.5%
無回答	0	0.0%
計	17	100.0%



【自由記述】

Q5 実践して身体に変化があったか

歩くことを増やすようになった
姿勢をよくする方法が分かったので、常に意識をしているが、身体の変化は当日
よくなったが、翌日以降は変化がない
歩くときに4つの輪を意識するようになった
あまり時間がたっていないので変化はない
体調がよくなった
姿勢がよくなったといわれる
まだ効果はわかりませんが、テレビ等を通じて呼吸の仕方でもパフォーマンスが
あがると聞いたことで継続した
1日に数回呼吸法を実践することで少しストレスが和らいだ気がします

Q5 実践できない理由

忙しく身体を動かす時間がない
元々運動を毎日行っている
普段に慣れて意識していない
やり方をわすれた…
時間がない
忙しいので時間が取れなかった
忙しすぎる

Q8 明日以降、何をするか

ストレッチ、ヨガ等
ヨガを少しづつしようと思う
普段の生活(仕事)で、多く歩く、多く自転車に乗ることを心掛けていきたいと思う。
ボールを使った運動
多く歩く、足踏みする
無回答
歩行をおこなうようにする
このようなイベントの参加や子どもたちとの活動を通じて運動したいと思います
長く続けられて不安の少ない早歩きの散歩を短時間でもやりたいと思う
ジムやプールに通う、子供とサイクリング、キャッチボールなどの機会を持つ
近いところは歩いていく